

# Origin ライセンスガイド

---



最終更新 2019 年 10 月

Copyright © 2019 by OriginLab Corporation

このマニュアルのいかなる部分も、OriginLab Corporation の文書による許可無く、理由の如何に因らず、どのような形式であつても複製または送信することを禁じます。

OriginLab、Origin、LabTalk は、OriginLab Corporation の登録商標または商標です。その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

このマニュアルは、(株)ライトストーンの協力により、翻訳・制作したものです。

OriginLab Corporation  
One Roundhouse Plaza  
Northampton, MA 01060  
USA  
(413) 586-2013  
(800) 969-7720  
Fax (413) 585-0126  
[www.OriginLab.com](http://www.OriginLab.com)



# 目次

<b>1</b>	<b>ライセンス</b> .....	<b>1</b>
<b>2</b>	<b>シングルユーザ ノードロックライセンス</b> .....	<b>3</b>
2.1.	ライセンスのアクティブ化.....	3
2.1.1.	重要事項.....	3
2.1.2.	プロダクトキーの入手.....	4
2.1.3.	プロダクトキーで Origin をアクティブにする.....	5
2.2.	ライセンスの取り外し.....	5
2.2.1.	Origin をコンピュータで、まだ実行できる場合：.....	5
2.2.2.	Origin をコンピュータで実行できない場合：.....	6
2.3.	メンテナンス更新後のライセンスアップデート.....	6
<b>3</b>	<b>ライセンスのアクティブ化</b> .....	<b>9</b>
3.1.	プロダクトキーとは何ですか、どのようにして入手しますか？.....	9
<b>4</b>	<b>マルチユーザ ノードロックライセンス</b> .....	<b>11</b>
4.1.1.	Origin をユーザに展開する前に.....	12
4.1.2.	ライセンスのアクティブ化.....	14
4.1.3.	ライセンスの取り外し.....	15
4.1.4.	メンテナンスを更新した後、マルチシートライセンスをアップデートするには.....	16
4.1.5.	プロダクトキーのグループをリセットしたい場合.....	17
4.1.6.	クライアントに Origin をインストール、またはファイルサーバに展開.....	17
4.2.	大規模なマルチユーザーノードロックライセンスのためにグループキーをリクエストおよび使用する方.....	17
<b>5</b>	<b>ネットワーク同時起動版ライセンス</b> .....	<b>19</b>
5.1.	Windows の FLEXnet サーバ設定方法.....	19
5.2.	Linux の FLEXnet サーバの設定方法.....	27
5.2.1.	Linux で新規に FLEXnet サーバを設定する方法.....	28
5.3.	FLEXnet クライアント初期設定.....	31
5.3.1.	Origin の初期設定での FLEXnet サーバ情報の入力.....	31
5.4.	ネットワーク同時起動版の追加情報.....	32
5.4.1.	追加ライセンス管理情報.....	33
5.4.2.	メンテナンス更新後のライセンス更新.....	43
5.4.3.	ネットワーク同時起動版パッケージをアップグレードする場合.....	43
5.4.4.	サーバーのライセンス取り外し.....	45
<b>6</b>	<b>学生版ライセンス</b> .....	<b>47</b>
6.1.	重要事項.....	47
6.2.	プロダクトキーの入手.....	47
6.3.	ライセンスのアクティブ化.....	48
6.4.	ライセンスの取り外し.....	49

6.4.1.	Origin をコンピュータで、まだ実行できる場合:	49
6.4.2.	Origin をコンピュータで実行できない場合:	49
6.5.	新しいバージョンに更新	49
<b>7</b>	<b>体験版ライセンス</b>	<b>51</b>
7.1.	体験版ライセンスを取得する	51
<b>8</b>	<b>バージョン 2019 以前の dongle (ハードウェアキー) 版</b>	<b>53</b>
8.1.	dongle (ハードウェアキー) で Origin を起動	53
<b>9</b>	<b>クライアントに Origin をインストール、またはファイルサーバに展開</b>	<b>55</b>
<b>10</b>	<b>バージョン 2016 以前のライセンス</b>	<b>57</b>
10.1.	バージョン 2016 以前のライセンスファイル版	57
10.1.1.	ライセンスファイル版のアクティベーション	58
10.1.2.	ライセンスファイル版のライセンスの取り外し	61
10.1.3.	メンテナンス更新後、ライセンスファイル版のライセンスをアップデート	62
10.2.	バージョン 2016 以前のマルチシート版	63
10.2.1.	Origin をユーザに展開する前に	64
10.2.2.	マルチシートライセンスのアクティブ化	66
10.2.3.	マルチシートライセンスの取り外し	71
10.2.4.	メンテナンスを更新した後、マルチシートライセンスをアップデートするには	72
10.3.	バージョン 2016 以前の学生版ライセンス	72
10.3.1.	重要事項	73
10.3.2.	ライセンスのアクティブ化	73
10.3.3.	ライセンスの取り外し	75
<b>11</b>	<b>Config.ini でインストールの設定をカスタマイズする</b>	<b>77</b>
11.1.	Config.ini とは何か、Config.ini でできること	77
11.1.1.	Config.ini の内容	77
11.2.	サイレントインストール	78
<b>12</b>	<b>索引</b>	<b>81</b>

# 1 ライセンス

シリアル番号とライセンスタイプを確認し、次のインストール情報のヘルプトピックに関連したリンクをご参照ください。

ライセンスタイプ	シリアル番号	ヘルプトピック
シングルユーザ ノードロック	xFxxx-9xxx-70/71/72xxxxx xFxxx-6xxx-70/71/72xxxxx	シングルユーザ ノードロックライセンス
マルチユーザ ノードロック	xFxxx-9xxx-76xxxxx xFxxx-6xxx-76xxxxx	マルチユーザ ノードロックライセンス
		クライアントに Origin をインストール、またはファイルサーバに展開
同時起動ネットワーク版	xxxxx-2xxx-79xxxxx xxxxx-3xxx-79xxxxx	Windows の FLEXnet サーバ設定方法
		Linux の FLEXnet サーバの設定方法
		FLEXnet クライアント初期設定
		ネットワーク同時起動版の追加情報
		クライアントに Origin をインストール、またはファイルサーバに展開
学生版	xxxxx-xxxx-72xxxxx (1 年) xxxxx-xxxx-76xxxxx (6 ヶ月)	学生版ライセンス
体験版	N/A	体験版ライセンス
ハードウェアキー( dongle )版	dongle での出荷	ハードウェアキー版



これらのライセンス案内はバージョン 2017 以降に対するものです。Origin2016 以前のバージョンをご利用頂いている場合は、「[バージョン 2016 以前のライセンス](#)」ページをご覧ください。





## 2 シングルユーザ ノードロックライセンス

次にシリアル番号はライセンスファイル版です:

`xFxxx-9xxx-70/71/72xxxxx`, または

`xFxxx-6xxx-70/71/72xxxxx`

シリアル番号が、

`xxxxx-2xxx-79xxxxx`, または

`xxxxx-3xxx-79xxxxx`,

ネットワーク同時起動版ですので、このページの情報は関係ありません。

ライセンスファイル版は、Origin を一人のコンピュータにインストールできます。OriginLab のウェブサイトから、このコンピュータにライセンス(メインのライセンス)を取得する必要があり、このライセンスはコンピュータを指定します。メンテナンス期間中は、メイン PC 以外のライセンスをノート PC や自宅用 PC などに取得できます。このライセンスは、メンテナンス期間中に利用でき、メンテナンス期間を更新している限り、継続して使うことができます。

Origin のライセンスのあるコンピュータを交換したい場合は、新しいコンピュータにライセンスを移行する前に、「ライセンスの取り外し」をする必要があります。

**NOTE:** この説明は Origin 2017 以降のバージョンに対するものです。バージョン 2016 以前をご利用されている場合は、「[バージョン 2016 以前のライセンス](#)」ページをご覧ください。

- [1 ライセンスのアクティブ化](#)
  - [1.1 重要事項](#)
  - [1.2 プロダクトキーの入手](#)
  - [1.3 プロダクトキーで Origin をアクティブにする](#)
  - [1.4 参考](#)
- [2 ライセンスの取り外し](#)
  - [2.1 Origin をコンピュータで、まだ実行できる場合](#)
  - [2.2 Origin をコンピュータで実行できない場合](#)
  - [2.3 参考](#)
  - [2.4 FAQ](#)
- [3 メンテナンス更新後のライセンスアップデート](#)

### 2.1. ライセンスのアクティブ化

#### 2.1.1. 重要事項

- Origin 2017 から、新しいライセンスシステムになります。ノードロックライセンスのプロセスを完了するのに、管理者の権限は必要ありません。

- 一度処理が終わるとライセンスはコンピュータに保存されるので、それ以降はインターネット接続は必要ありません。

## 2.1.2. プロダクトキーの入手

新規で製品版を購入、またはメンテナンスサービス期間中に、Origin 2016 またはそれ以前のバージョンから Origin 2017 またはそれ以降にアップグレードした場合

- Origin のシリアル番号と認証のリンクが記載されている Email、  
または  
Origin のシリアル番号と登録コードが印刷されているライセンス証書が届きます。  
または  
代理店から登録コードが届きます。
  - Email を受け取った場合、
    - 登録用のリンクをクリックして、Origin の Web サイトに移動します。ログインまたは新規登録を求められます。既に Web メンバーシップを持っている場合はログインします。必要な場合はアカウントを作成してください。
    - ログイン後、あなたの登録コードとシリアル番号情報が Web ページに表示されます。登録 ボタンを押して、このシリアル番号を登録し、プロダクトキーを入手します。
    - Origin 製品の登録/ライセンスリクエスト歴が開くので、(1) オフィスのコンピュータ用または (1) ホームユースコンピュータ用の(2) プロダクトキーが生成されます。
  - 代理店からライセンス証書または登録コードを受け取った場合
    - 手動で OriginLab の製品登録ページ <https://www.originlab.com/reg> を開いてください。ログインするかアカウントを作成する必要があります。
    - 製品登録のページで、要求された登録コードを入力し、次へボタンをクリックして子のシリアル番号を登録し、プロダクトキーを生成します。
    - Origin 製品の登録/ライセンスリクエスト歴が開くので、(1) オフィスのコンピュータ用または (1) ホームユースコンピュータ用の(2) プロダクトキーが生成されます。



シリアル番号リンクの下にある、**Manage My License** をクリックすると、プロダクトキーを確認することができます。Origin 製品の登録/ライセンスリクエストページから、プロダクトキーの情報は確認することができます。

メンテナンスサービス期間中に、Origin 2017 またはそれ以前のバージョンから最新のバージョンにアップグレードした場合

Origin2018 から、同じプロダクトキーを違うバージョン同士でシェアすることが出来ます。新しいバージョンのために、新しいプロダクトキーを入手する必要はありません。[こちら](#)をご覧ください。

### 2.1.3. プロダクトキーで Origin をアクティブにする

1. Origin を起動します。ライセンスのアクティブ化ダイアログを開きます。
2. 次のプロダクトキーを入力し、アクティブ化をクリック のオプションを選択し、プロダクトキーを入力します。
3. ライセンスプロセスはバックグラウンドで行われます。ライセンシングが成功すると、成功のメッセージが届きます。

#### ライセンスのプロセスが失敗した場合は、次のステップに進んで下さい:

4. 様々な理由によりライセンスプロセスが失敗した場合は(たとえば、インターネット接続がない)、メモ帳を開き、そのリンクを確認します。次のステップに進みます。メモ帳のウィンドウが表示されない場合、これはファイアウォールに問題があることを示している可能性があります。この場合、ユーザーはインターネットから切断する必要があります(オペレーティングシステム経由またはコンピュータからネットワークケーブルを物理的に切断します)。インターネット接続が検出され場合に、メモ帳のウィンドウが強制的に表示され、次のステップに進むことができます。
5. リンクをコピーしてインターネットが接続されているブラウザソフトに貼り付けます。OriginLab の Web サイトが開きます。
6. アカウントにログインすると、ライセンステキストが生成され、Web ページに表示されます。
7. ライセンスファイルテキストをコピーして、ライセンスのアクティブ化 ダイアログに戻り、貼り付けます。**OK** をクリックします。この手順が失敗した場合は、管理者としてソフトウェアを実行し (Origin プログラムアイコンを右クリックし、**管理者として実行**を選択してください)、もう一度やり直してください。

## 2.2. ライセンスの取り外し

ライセンシングが成功した後、プロダクトキーは Web 上で「Used」と表記され、他のコンピュータでは利用出来なくなります。Origin のライセンスを別のコンピュータに移したい場合、元のコンピュータからライセンスを取り外して新しいコンピュータに、同じプロダクトキーでライセンスを入れる必要があります。

### 2.2.1. Origin をコンピュータで、まだ実行できる場合:

1. Origin を起動します。ヘルプ:ライセンスの取り外し から、ライセンスの取り外し ダイアログを開きます。
2. **ライセンスの取り外し** ボタンをクリックします。
3. ライセンスのプロセスはバックグラウンドで行われます。ライセンシングが成功すると、成功のメッセージが届きます。

#### ライセンスのプロセスが失敗した場合は、次のステップに進んで下さい:

4. 様々な理由によりライセンスプロセスが失敗した場合は(たとえば、インターネット接続がない、originlab.com サイトがファイアウォールでブロックされた場合など)、ノートパッドを開き、そのリンクを確認します。
5. リンクをコピーしてインターネットが接続されているブラウザソフトに貼り付けます。ライセンス情報を表示した OriginLab サイトに移動します。

6. **除去コード**を確認します。
7. Originに戻ります。**ライセンスの取り外し** ダイアログの下側にある、除去コードの編集ボックスに、**除去コード**を入力します。**ライセンスの取り外し** ボタンをクリックします。
8. ノートパッドにリンクを記入します。リンクをコピーしてインターネットが接続されているブラウザソフトに貼り付けます。
9. **続ける**ボタンをクリックします。完了のメッセージが出たら、ライセンスが再利用のために発行されます。

## 2.2.2. Origin をコンピュータで実行できない場合：

1. www.originlab.com/reginfo に移動して、ログインしてください。
2. 取り外したいシリアル番号をクリックし、「処理」列にある**ライセンスを取り外す**をクリックします。
3. **デバイスからライセンスを取り外す**のページで、情報を確認し**続ける**をクリックしてライセンスを取り外します。もしライセンスの取り外しが成功した場合は、成功したことを示すメッセージが表示され、そのプロダクトキーを再利用できます。
4. もしライセンスの取り外しが失敗した場合は、**システムの移行リクエストフォーム**ページに自動的に移動します。リクエストのフォームを入力して送信してください。

## 2.3. メンテナンス更新後のライセンスアップデート

Origin2018 から、新しいバージョンはプロダクトキーや使用環境などに合わせた古いバージョンから全てのライセンスを引継ぐといったように、同じライセンスを別々のバージョンでシェアします。より簡単に更新を行うには

[メンテナンス](#)が更新されたら、以下のようにして新しい FLEXnet サーバーライセンスを取得してください。

1. OriginLab のウェブサイト(www.OriginLab.com).を開きます。ログインします。
2. ようこそページの “登録済みの Origin 製品を表示” をクリックします。
3. 登録済みの Origin 製品を表示のページでシリアル番号の表にある**バージョン**列をチェックして、更新が可能な新バージョンがあるかを確認します。

**可能なバージョンがある場合、次の説明に従って新しいバージョンにアップグレードします。**

- 現在 Origin を使用していたコンピュータに新しいバージョンをインストール場合、次の手順で新しいバージョンをインストールしてアクティブ化を行ってください。
  1. OriginLab の Web サイトから新しいバージョンをダウンロードし、インストールします。
  2. Origin を起動します。ライセンスプロセスは自動的にバックグラウンドで行われます。ライセンシングが成功すると、成功のメッセージが届きます。もし失敗した場合は、対応説明が記述されたメモ帳が開きます。説明に従って Origin をマニュアルでアクティブ化してください。

## Origin ライセンス

- 別の新しいコンピュータに新しいバージョンをインストールする場合、次の手順で新しいバージョンをインストールしてアクティブ化を行ってください。
- 現バージョンで使用している全てのプロダクトキーを使用しない場合、新しいコンピュータに新しいバージョンをインストールし、利用可能なプロダクトキーを使ってアクティブ化出来ます。アクティブ化の詳細については、[プロダクトキーで Origin をアクティブ化するセクション](#)をご覧ください。
- 元バージョンで使用しているプロダクトキーを使用する場合は、プロダクトキーを新しいバージョンで再度利用する前に、使用していないライセンスを 1 つ取り外す必要があります。ライセンスの取り外しについては[ライセンスの取り外しセクション](#)をご参照ください。

**新規のバージョンが表示されていない場合、あなたは既に最新のバージョンを登録していることになります。次の手順で更新ライセンスを取得してください。**

1. Origin を起動します。**ヘルプ:ライセンスの取り外し**を選択します。
2. **ライセンス** ボタンをクリックします。
3. **ライセンスのアクティベーション** ダイアログにプロダクトキーが既に自動入力されています。**アクティブ化** ボタンをクリックします。
4. **ヘルプ:バージョン情報**を選択し、メンテナンス期間がアップデートされたことを確認してください。

### **Note:**

メンテナンス期間中は、Origin を常に最新の状態にアップデートすることをお勧めします。



### 3 ライセンスのアクティブ化

Origin をアクティブ化するには、**プロダクトキー**が必要です。

この**ライセンスのアクティベーション**ダイアログは、プロダクトキーを入力してライセンス取得のプロセスが完了するまで、Origin の起動時に毎回表示されます。このダイアログは**ヘルプ:ライセンスのアクティブ化**メニューから開くこともできます。

The screenshot shows a dialog box titled "ライセンスのアクティベーション" (License Activation). It contains instructions in Japanese and two input fields. A callout box points to the "アクティブ化" (Activate) button, stating: "ここに『プロダクトキー』を入力して『アクティブ化』ボタンをクリックします。ライセンスプロセスはバックグラウンドで行われ、成功のメッセージが表示されます。" (Enter the product key here and click the 'Activate' button. The license process is performed in the background, and a success message will be displayed.) Another callout box points to the second input field, stating: "バックグラウンドでのアクティブ化に失敗した場合、URLの記載されたメモ帳が開きます。" (If activation fails in the background, a notepad with the URL will open.) Below this, a list of steps is provided: "1. URLをコピーしてウェブブラウザに貼り付けます。" (Copy the URL and paste it into a web browser.) "2. OriginLabのページにログイン後、ライセンステキストが表示されます。" (After logging in to the OriginLab page, the license text will be displayed.) "3. ライセンステキストを全てコピーし、この編集ボックスに貼り付けます。" (Copy all the license text and paste it into this editing box.) "4. OKをクリックします。" (Click OK.)

**NOTE:** バックグラウンドのライセンスプロセスはほとんどの場合で動作します。ファイアウォールが原因でウェブサーバーまたはインターネットへ接続できずに失敗する場合は、2つ目の入力ボックスを使用して手動でライセンステキストを入力してください。

#### 3.1. プロダクトキーとは何ですか、どのようにして入手しますか？

プロダクトキーはシリアル番号に紐付いています。OriginLab のサーバーに送り、そのコンピュータ用ライセンスを生成します。

プロダクトキーを入手するには:

シリアル番号	プロダクトキーの入手方法
xFxxx-9xxx-70xxxxx xFxxx-9xxx-71xxxxx xFxxx-9xxx-72xxxxx または xFxxx-6xxx-70xxxxx xFxxx-6xxx-71xxxxx xFxxx-6xxx-72xxxxx	このページの手順を確認してプロダクトキーを入手してください。
xFxxx-9xxx-76xxxxx または xFxxx-6xxx-76xxxxx	プロダクトキーの管理者にお問い合わせください。

<p>xAxxx-6089-72xxxxx xAxxx-6089-76xxxxx</p>	<p>このページの手順を確認してプロダクトキーを入手してください。</p>
<p>xMxxx-6xxx-7xxxxx</p>	<p>このページの手順を確認して dongle (ハードウェアキー) を更新してください。</p>



## 4 マルチユーザ ノードロックライセンス

次のシリアル番号は、マルチシートライセンスです：

*xFxxx-9xxx-76xxxxx*, または

*xFxxx-6xxx-76xxxxx*.

シリアル番号が、

*xxxxx-2xxx-79xxxxx*, または

*xxxxx-3xxx-79xxxxx*,

ネットワーク同時起動版ですので、このページの情報は関係ありません。

マルチシート版は、契約ライセンス数に基づいて、その数の Origin をインストール、または、設置できます。それぞれのコンピュータは、OriginLab からライセンス認証する必要があり、ライセンスはコンピュータ指定になります。Origin のライセンスのあるコンピュータを交換したい場合は、新しいコンピュータにライセンスを移行する前に、「ライセンスの取り外し」をする必要があります。

**NOTE:** この説明は Origin 2017 以降のバージョンに対するものです。バージョン 2016 以降をご利用されている場合は、こちらのページをご覧ください。

- [1 Origin をユーザに展開する前に.](#)
  - [1.1 OriginLab の WEB サイトでプロダクトキーに有効なメカニズムを構築するには](#)
  - [1.2 Origin パッケージをユーザに配布するには](#)
  - [1.3 複数のユーザがいる場所での展開](#)
- [2 ライセンスのアクティブ化](#)
  - [2.1 ライセンスのアクティブ化](#)
  - [2.2 管理者が他のユーザ用にライセンスを取得する](#)
  - [2.3 参考](#)
  - [2.4 FAQ](#)
- [3 ライセンスの取り外し](#)
  - [3.1 Origin をコンピュータで、まだ実行できる場合](#)
  - [3.2 Origin をコンピュータで実行できない場合](#)
  - [3.3 FAQ](#)
- [4 メンテナンスを更新した後、マルチシートライセンスをアップデートするには](#)
- [5 プロダクトキーのグループをリセットしたい場合](#)
- [6 クライアントに Origin をインストール、またはファイルサーバに展開](#)

### 4.1.1. Origin をユーザに展開する前に.

マルチユーザのパッケージには、ライセンスを取得できる WEB メンバーシップアカウントを制限できる仕組みがあります。この仕組みは、シリアル番号の不正利用を防ぎ、あなたの所属する会社や研究室のユーザがライセンスを取得できるように確保することを目的としています。

#### OriginLab の WEB サイトでプロダクトキーに有効なメカニズムを構築するには

Origin の管理者として、シリアル番号、生成されたプロダクトキー、ユーザへのプロダクトキーの提供の仕方を次のステップで登録を完了してください。この処理は、Origin が使えるようになったとユーザに周知する前に完了してください。

1. ご購入後にメールが届きます。このメールには、Origin のシリアル番号と登録用のリンクが含まれています。  
販売代理店がある地域では、登録コードを販売代理店から受け取ることになります。
2. 登録用のリンクをクリックして、Origin の Web サイトに移動します。ログインまたは新規登録を求められます。既に Web メンバーシップを持っている場合はログインします。必要な場合はアカウントを作成してください。  
登録コードを受け取ったら、OriginLab の Web サイト(www.originlab.com)にログインします。ようこそそのページにある「Origin 製品の登録(v9.4.2017)」をクリックし、ステップ 3 に進みます。
3. ログイン後、あなたのシリアル番号と登録コード、プロダクトキーの提供方法の 3 つのオプションが情報が Web ページに表示されます。次のオプションから選択しますが、**一度ライセンシングのプロセスを開始してしまうと、オプションを変更することが出来ませんので、十分に検討してから決定してください。**：

- **管理者で全てのライセンスプロダクトキーを入手します。**

このオプションを選択すると、Origin のライセンス取得について、管理者ご自身で管理して頂きます。管理者ご自身で個々のワークステーションに Origin をインストールしてライセンス取得を行うか、ユーザにプロダクトキーを渡してライセンス取得を実施して頂く形となります。

次のように行います：

1. あなたのアカウントで OriginLab の Web サイトにログインします。
2. 「登録済の Origin 製品を表示する」リンクをクリックします。
3. 対象のシリアル番号を捜し、そのリンクをクリックします。全てのプロダクトキーがリストアップされます。
4. ワークステーションの Origin を起動し、利用できるプロダクトキーを選択して、ライセンスのアクティブ化を完了します。

- **ユーザのライセンスプロダクトキーのリクエストを管理者で許可します**

このオプションでは、ユーザがプロダクトキーをリクエストできる URL を与えます。ユーザに URL を送る前に、管理者はユーザの Email フラグメントを追加する必要があります。

次に：

1. ユーザに URL をメールします。
2. URL を使ってユーザはプロダクトキーをリクエストすると、あなたはメールを受けとります。

3. "Handle Product Keys request" ページに移動し、選択したユーザの表にプロダクトキーを割り当てます。これにより、ユーザのアカウントにプロダクトキーを含んだメールが送られます。

4. ユーザは Origin をインストールして実行し、プロダクトキーを使ってライセンスを有効にします。

○ **個々のユーザがライセンスプロダクトキーを取得する**

このオプションを選択すると、ユーザに配布する URL が管理者に与えられます。ユーザに URL を送る前に、管理者はユーザの Email フラグメントを追加する必要があります。

次に:

1. ユーザに URL をメールします。
2. ユーザが URL をクリックすると、プロダクトキーが生成され、ユーザにメールされます。
3. ユーザは Origin をインストールして実行し、プロダクトキーを使ってライセンスを有効にします。

4. 必要に応じて、Email フラグメントを入力してください。

- **もし管理者で全てのライセンスプロダクトキーを入手します。**を前のステップで選択した場合、Email フラグメントを設定する必要はありません。
- **ユーザがライセンスプロダクトキーをリクエストすることを許可する** を選択した場合
  - 許可したユーザもライセンスを取得できるようにしたい場合は、まずは自分のアカウントのメールアドレスを入力します。終わったら、「許可した」ユーザのメールアドレスを全て入力します。(以下のステップを参照してください。)ユーザがライセンス取得をしようとする前であれば、管理者はいつでも OriginLab の WEB サイトに戻ってメールアドレスの追加ができます。
  - 組織内のメンバーでライセンス取得を制限したい場合には、あなたの組織特有の Email フラグメントを入力しておき、ライセンスを取得すべき対象者のみがライセンスを取得できるようにします。
- **個々のユーザがライセンスプロダクトキーを入手する**を選択した場合は、管理者の全 email アドレスと追加する全ての email アドレスを入力出来、また、組織特有の email フラグメントも入力することが出来ます。詳しくは上記の記述をご参照下さい。



一つ目のメールアドレスの入力が終わった後、追加のメールアドレスを入力する際は、

1. OriginLab の Web サイトの右上にある、あなたのログイン名をクリックします。(Web サイトに戻って、まだログインしていない場合には、ログインをクリックします)
2. 続いて、「Welcome」ページで「**ライセンスアクセス制限**」をクリックします。
3. 開いたページの案内に沿って、メールアドレスまたはアドレスの一部を追加します。

4. **登録** ボタンをクリックして登録を完了します。



非常に大きなグループの管理者に対して、エンドユーザにキーを簡単に渡せるように固有のグループプロダクトキーを提供しています。このグループキーで Origin のバッチインストールを行うこともできます。

## Origin パッケージをユーザに配布するには

Origin をユーザに配布する時、インストーラーとシリアル番号と共にプロダクトキー URL を提供してください。このコードはライセンス取得時に使用されます。また、ライセンス認証をする時は OriginLab の WEB サイトにログインする必要があることをユーザに説明し、アカウントを持っていないようなら作成するように伝えてください。OriginLab の Web サイトに参加する場合には、メールアドレスを含んだ組織のコンタクト情報を入力するようにユーザに伝えます。

すでにアカウントを持っているが、(Gmail 等を使っており) 所属している組織が発行したメールアドレスを登録していない場合、まずアカウントをアップデートし、所属組織の情報に変更するよう説明してください。WEB サイトにログイン後、**ユーザプロフィールの表示/更新リンク**をクリックしてアカウントのアップデートを行う必要があります。

## 複数のユーザがいる場所での展開

### 4.1.2. ライセンスのアクティブ化

#### 重要事項

- Origin 2017 から、新しいライセンスシステムになります。ノードロックライセンスのプロセスを完了するのに、管理者の権限は必要ありません。
- 一度処理が終わるとライセンスはコンピュータに保存されるので、それ以降はインターネット接続は必要ありません。

## エンドユーザでのライセンスのアクティブ化

1. Origin の管理者から、シリアル番号と関連するプロダクトキーを受けとります。
2. Origin を起動します。**ライセンスのアクティブ化**ダイアログを開きます。
3. **次のプロダクトキーを入力し、アクティブ化をクリック** のオプションを選択し、プロダクトキーを入力します。
4. ライセンスプロセスはバックグラウンドで行われます。ライセンスングが成功すると、成功のメッセージが届きます。

### ライセンスのプロセスが失敗した場合は、次のステップに進んで下さい:

5. 様々な理由によりライセンスプロセスが失敗した場合は(たとえば、インターネット接続がない、originlab.com サイトがファイアウォールでブロックされた場合など)、ノートパッドを開き、そのリンクを確認します。
6. リンクをコピーしてインターネットが接続されているブラウザソフトに貼り付けます。OriginLab の Web サイトが開きます。
7. ライセンスファイルテキストが作成され、WEB ページ上に表示されます。

8. ライセンスファイルテキストをコピーして、**ライセンスのアクティブ化** ダイアログに戻り、貼り付けます。**OK** をクリックします。

## 管理者が他のユーザ用にライセンスを取得する

マルチシートノードロックパッケージの管理者の場合は、ユーザ自身で Origin ライセンスの取得を取得できます。または、ライセンス取得のプロセスを管理者で行うことができます。シリアル番号に対するプロダクトキーの提供機構を構築するには、**全てのライセンスプロダクトキーを自分で取得する** ユーザのコンピュータでライセンスをアクティベートするために次の手順に従ってください。

### 4.1.3. ライセンスの取り外し

Origin のライセンスを別のコンピュータに移したい場合、元のコンピュータからライセンスを取り外して新しいコンピュータに、同じプロダクトキーでライセンスを入れる必要があります。

#### Origin をコンピュータで、まだ実行できる場合：

1. Origin を起動します。ヘルプ:**ライセンスの取り外し** から、**ライセンスの取り外し** ダイアログを開きます。
2. **ライセンスの取り外し** ボタンをクリックします。
3. ライセンスのプロセスはバックグラウンドで行われます。ライセンシングが成功すると、成功のメッセージが届きます。

#### **ライセンスのプロセスが失敗した場合は、次のステップに進んで下さい：**

4. 様々な理由によりライセンスプロセスが失敗した場合は(たとえば、インターネット接続がない、originlab.com サイトがファイアウォールでブロックされた場合など)、ノートパッドを開き、そのリンクを確認します。
5. リンクをコピーしてインターネットが接続されているブラウザソフトに貼り付けます。
6. ライセンス情報がページに表示されます。**除去コード**を確認します。
7. Originに戻ります。**ライセンスの取り外し** ダイアログの下側にある、除去コードの編集ボックスに、**除去コード**を入力します。**ライセンスの取り外し** ボタンをクリックします。
8. ノートパッドにリンクを記入します。リンクをコピーしてインターネットが接続されているブラウザソフトに貼り付けます。
9. **続ける**ボタンをクリックします。完了のメッセージが出たら、ライセンスが再利用のために発行されます。

#### Origin をコンピュータで実行できない場合：

##### **あなたが管理者の場合**

次の手順に従い、OriginLab の Web サイトでライセンスの取り外しを実行します。

1. OriginLab のウェブサイト(www.OriginLab.com).を開きます。ログインします。
2. ようこそページの "登録済みの Origin 製品を表示" をクリックします。
3. 登録済みの Origin 製品を表示ページで、対象のシリアル番号のリンクをクリックします。
4. 開いたページで、"全てのプロダクトキーをここで見るすることができます。"をクリックします。
5. Origin 製品の登録 | ライセンス要求履歴のページで、"go"リンクをクリックします。

6. デバイスからライセンスを取り外すのページで、PC 情報を確認し**続ける**をクリックします。もしライセンスの取り外しが成功した場合は、成功したことを示すメッセージが表示され、そのプロダクトキーを再利用できます。
7. もしライセンスの取り外しが失敗した場合は、**システムの移行リクエストフォーム**ページに自動的に移動します。リクエストのフォームを入力して送信してください。

#### あなたがユーザの場合

OriginLab の Web サイトでのライセンス取り外しについては、管理者に問い合わせてください。

### 4.1.4. メンテナンスを更新した後、マルチシートライセンスをアップデートするには

Origin2018 から、新しいバージョンはプロダクトキーや使用環境などに合わせた古いバージョンから全てのライセンスを引継ぐといったように、同じライセンスを別々のバージョンでシェアします。これによりアップグレードが容易になります。

#### あなたが管理者の場合

**メンテナンス**の更新を進めた後は、シリアル番号は最新のバージョンに自動的に更新されます。以前のバージョンの設定に関連した全てのライセンス(プロダクトキーの分配や Email フラグメントを含む)は新しいバージョンに適用されます。ご準備ができましたらユーザに更新を知らせてください。以下はいくつかのヒントです。

1. OriginLab のウェブサイト(www.OriginLab.com).を開きます。ログインします。
2. ようこそページの “登録済みの Origin 製品を表示” をクリックします。
3. 登録済みの Origin 製品を表示のページでシリアル番号の表にある**バージョン**列をチェックして、更新が可能な新バージョンがあるかを確認します。
  - **更新が可能なバージョンがある場合**、新しいバージョンをインストールして同じプロダクトキーでアクティブ化出来る事をユーザにお知らせください。詳細の手順は、**あなたが管理者の場合 > 更新可能なバージョンがある場合** セクションを参照してください。
  - **新しいバージョンが表示されない場合**、現バージョンの新規ライセンスを取得して、メンテナンス期限を更新するようにユーザにはお知らせください。詳細の手順は、**あなたが管理者の場合 > 更新可能なバージョンがない場合** セクションを参照してください。
  - **プロダクトキーのグループをリセットしたい場合は**、[このセクション](#)を参照願います。

#### あなたがユーザの場合

1. 管理者から更新の情報を受けとります。
2. アップグレードできる新しいバージョンがある場合には、
  1. 現在 Origin がライセンスされているコンピュータに新しいバージョンをインストールする場合
  2. Origin を起動します。ライセンスプロセスは自動的にバックグラウンドで行われます。ライセンシングが成功すると、成功のメッセージが届きます。もし失敗した場合は、対応説明が記述されたメモ帳が開きます。説明に従って Origin をマニュアルでアクティブ化してください。



新しいバージョンが表示されない場合は、

3. Origin を起動します。ヘルプ:ライセンスの取り外しを選択します。
4. **ライセンスのアクティベーション** ダイアログにプロダクトキーが既に自動入力されています。アクティブ化 ボタンをクリックします。ライセンシングが成功すると、成功のメッセージが届きます。もし失敗した場合は、対応説明が記述されたメモ帳が開きます。説明に従って Origin をマニュアルでアクティブ化してください。
3. **ヘルプ:バージョン情報**を選択し、メンテナンス期間がアップデートされたことを確認してください。

#### 4.1.5. プロダクトキーのグループをリセットしたい場合

1. OriginLab のウェブサイト(www.OriginLab.com).を開きます。ログインします。
2. ようこそページの “登録済みの Origin 製品を表示” をクリックします。
3. 登録済みの Origin 製品を表示ページで、対象のシリアル番号のリンクをクリックします。
4. 開いたページで、“全てのプロダクトキーをここで見るができます。”をクリックします。
5. Origin 製品の登録 | ライセンス要求履歴のページで、使用されていないプロダクトキーにチェックを入れます。
6. **選択したプロダクトキーのリセットを OriginLab にリクエストボタン**をクリックします。
7. 編集ボックスのコメント欄にリセットの理由を記入します。**OK** をクリックします。
8. リクエストが進むと、プロダクトキーがリセットされた旨の E メールが届きます。新しいキーを OriginLab のサイトで確認出来ます。

#### 4.1.6. クライアントに Origin をインストール、またはファイルサーバに展開

### 4.2. 大規模なマルチユーザーノードロックライセンスのためにグループキーをリクエストおよび使用方法

キャンパスワイドライセンスなどの大規模なグループの管理者向けに、Origin を多くのコンピュータに簡単に配備するグループプロダクトキーを提供しています。

#### グループプロダクトキーを作成する方法

1. OriginLab の Web サイトにログインします。
2. 「登録済みの Origin 製品を表示」をクリックしてシリアル番号をクリックします。
3. 「全てのプロダクトキーをここで見るができます。」をクリックします。開いたページの**グループプロダクトキーのリクエストボタン**をクリックします。

グループプロダクトキーの目的は、アクティベーション中に手動でキーを入力する必要がないようにすることです。

#### グループプロダクトキーの使用法

1. テキストファイルにグループプロダクトキーをコピーし、**PK.txt** という名前で保存します。
2. **PK.txt** ファイルを Origin のセットアップファイルがある場所に置きます。
3. Origin のセットアップファイルを使ってインストールします。
4. インストールが完了したら Origin を開始します。ライセンスのアクティブ化ダイアログにグループプロダクトキーがあらかじめ入力され、ライセンスが自動でアクティベートされます。

グループプロダクトキーを[サイレントインストール](#)とともに使用すると、各ユーザマシンで Origin のインストールとライセンス認証を自動でできます。



## 5 ネットワーク同時起動版ライセンス

次のシリアル番号は、ネットワーク同時起動版ライセンスです。

XXXXX-2XXX-79XXXXX, または

XXXXX-3XXX-79XXXXX,

シリアル番号が、

XXXXX-9XXX-XXXXXXXX, または、

XXXXX-6XXX-XXXXXXXX の場合は、

別のライセンスですので、このページの情報は関係ありません。

ネットワーク同時起動版は、組織内のコンピュータならばいくつにでもインストールおよび設置をすることができます。ただし、FLEXnet サーバ(OriginLab 社提供)をインストールし、ライセンス管理のために設定がされているコンピュータ(ワークステーション、または、サーバー)に、各コンピュータは接続する必要があります。すでに FLEXnet ライセンス管理を他のソフトウェアで使用している場合、この同じコンピュータを使って Origin を管理するように設定できます。ただし、これを行うためには OriginLab 社が対応している FLEXnet のバージョンでなければなりません。

FLEXnet サービスで、契約したときの同時起動台数に基づいて、Origin を同時に起動できる台数を制限します。例えば、同時起動台数が 25 ユーザで契約している場合、同時に起動できる Origin の台数は 25 台以下になります。Origin を実行すると、Origin の「貸し出し」オプションがあります。指定した期間、FLEXnet サーバ外から、Origin を利用できます。

ネットワーク同時起動ライセンスはタイムゾーン制限の影響を受けます。Origin が動作しているすべてのクライアントマシンが、サーバマシンと同じタイムゾーンになければなりません。サーバ(海外のオフィスなど)と異なるタイムゾーンで Origin を実行する場合は、OriginLab にお問い合わせください。

### このセクションで説明している項目

- Windows の FLEXnet サーバ設定方法
- Linux の FLEXnet サーバの設定方法
- FLEXnet クライアント初期設定
- 追加ライセンス管理情報

### 5.1. Windows の FLEXnet サーバ設定方法

このページは主に初めて新規に FLEXnet サーバをインストールして設定するユーザー向けです。  [Setting up your Concurrent Network Package](#) 動画もご覧ください。

- もし以前のネットワーク同時起動版を新しいバージョンにアップグレードする場合には、ライセンスサーバを更新し、サービス用の新しいライセンスを取得することができます。
- 他のソフトウェアを管理するのに FLEXlm か FLEXnet を使用中の場合、既存の FLEXlm または FLEXnet サーバを使って Origin を管理することができます。

- [1 FLEXnet サーバー用のコンピュータの選択](#)
- [2 FLEXnet サーバーのインストール](#)
  - [2.1 新しいマシンでの設定](#)
  - [2.2 既存の FlexLM ライセンスサーバの更新](#)
- [3 OriginLab から FLEXnet サーバーコンピュータ用のライセンスファイルの取得](#)
  - [3.1 FLEXnet サーバのホスト名とホスト ID の確認](#)
  - [3.2 ライセンスファイルの取得](#)
- [4 FLEXnet サービスの設定と起動](#)
- [5 クライアントに Origin をインストール、またはファイルサーバに展開](#)

## FLEXnet サーバー用のコンピュータの選択

### 動作環境

- 頻繁な再起動を必要としない安定したマシン。サーバーかワークステーションのどちらかを推奨。
- 低ネットワークトラフィック
- RAM 容量 64MB 以上
- すべての Origin コンピュータが接続可能。FLEXnet ライセンスサーバとクライアントが TCP/IP プロトコルで通信可能。

## FLEXnet サーバーのインストール



- Flexera Software (FLEXnet ライセンスソフトウェアの製造元) は、セキュリティリスクの回避の為、全ての FLEXnet サーバの 11.13.1.2 以降への更新をアナウンスしました。[\(こちらをご覧ください\)](#)。
- Origin2016 以降のネットワーク同時起動版は、Windows 用でバージョン 11.13.1.2 以上の FlexLM サーバーが必要です。これよりも低いバージョンでは Origin は接続できません。
- Microsoft Visual C ++ 2008Redistributable Package (x86)をインストールする必要があります。インストールされていない場合は、はじめに[ダウンロード](#)とインストールを行ってください。

### 新しいマシンでの設定

新しいマシンに FLEXnet サーバをインストールする場合は、はじめに FLEXlmServerSetup.exe をダウンロードしてインストールを実行します。または、Origin の DVD がある場合はそれを使用してインストールできます。脆弱性の回避の為、C:\Program Files\またはデスクトップにはインストールをしないでください。

- [FLEXlmServerSetup32Bit.exe](#)
- [FLEXlmServerSetup64Bit.exe](#)

Windows Server 2012, 2008, Windows Vista, 7, 8/8.1, 10 (32bit、64bit の両方)に対応しています。

## 既存の FlexLM ライセンスサーバの更新

セキュリティの理由から FLEXnet を 11.13.1.2 以降に更新する必要があります。Program Files フォルダとデスクトップへのインストールは推奨しません。古い FLEXnet サーバーをアンインストールしてから新しいバージョンをインストールすることを推奨します。

### 古い OriginLab FLEXnet サーバの削除方法

1. 古い FLEXnet サーバのフォルダを開き、ライセンスファイルを探します。新しいサーバでライセンスファイルを使用しますので、このバックアップを取っておきます。
2. LMTOOLS.exe を実行し、Start/Stop/Reread タブに移動します。Force Server Shutdown のチェックボックスにチェックを入れ、Stop Server のボタンをクリックします。
3. サーバが停止するまで待ちます。Server Status でシャットダウンしているかを確認出来ます。
4. 次に、Config Services タブに移動し、設定されている OriginLab License Service を選択して、Remove Service をクリックします。LMTOOLS.exe を閉じます。
5. Windows のコントロールパネルに移動し、OriginLab FLEXlm サーバをアンインストールします。表示されるプログラム名は License Server for OriginLab です。  
アンインストールを実行します。古い OriginLab FLEXnet server ファイルはアンインストールされます。
6. もし古いフォルダが残った場合は削除します。ライセンスファイルやログファイルも含まれています。

### Note:

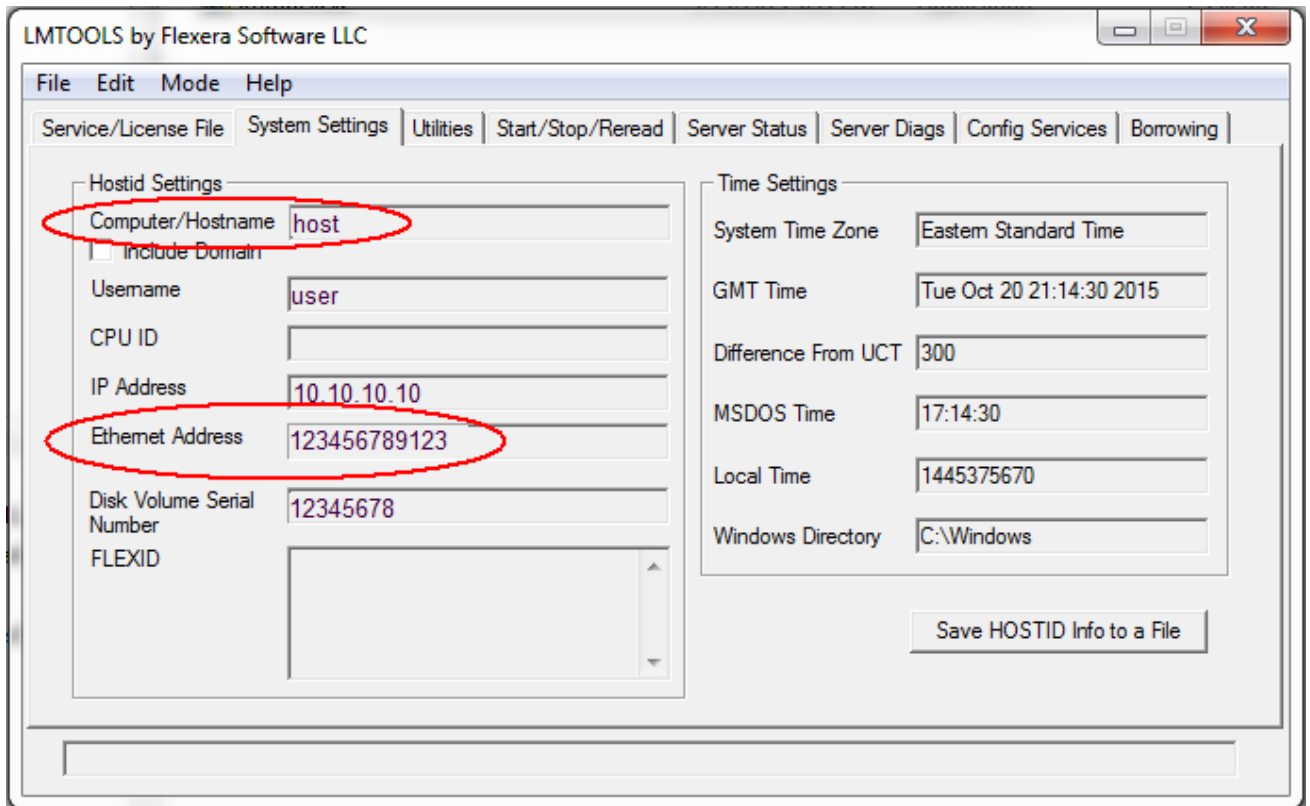
- 古い FLEXnet Server が Program Files フォルダやデスクトップに無い場合、または新たにインストールを行いたくない場合には、次の Zip ファイルにある、**Imgrd.exe**、**orglab.exe** と **lmtools.exe** を入れ替えてください。  
[FLEXnetServer11.13.1.3 Files 32Bit.zip](#)  
[FLEXnetServer11.13.1.3 Files 64Bit.zip](#)
- 32-bit 用の FLEXlm License Server は 64-bit Windows でも稼働します。
- 既に最新の FLEXnet サーバーが他のソフトウェアの管理用にインストールされている場合は、Origin の管理用に同じ FLEXnet サーバーを利用出来ます。
- Flexera Software の要求ページにある、追加の FLEXnet プラットフォームに関しては、OriginLab は現在サポートしていません。プラットフォームへの追加サポートについては、OriginLab 社のテクニカルサポートにお問い合わせください。

## OriginLab の web ページから FLEXnet サーバーコンピューター用のライセンスファイルを取得

### FLEXnet サーバのホスト名とホスト ID を確認

1. FLEXnet サーバーをインストールした場所に移動します。Tools フォルダ内にある LMTools.exe を実行します。

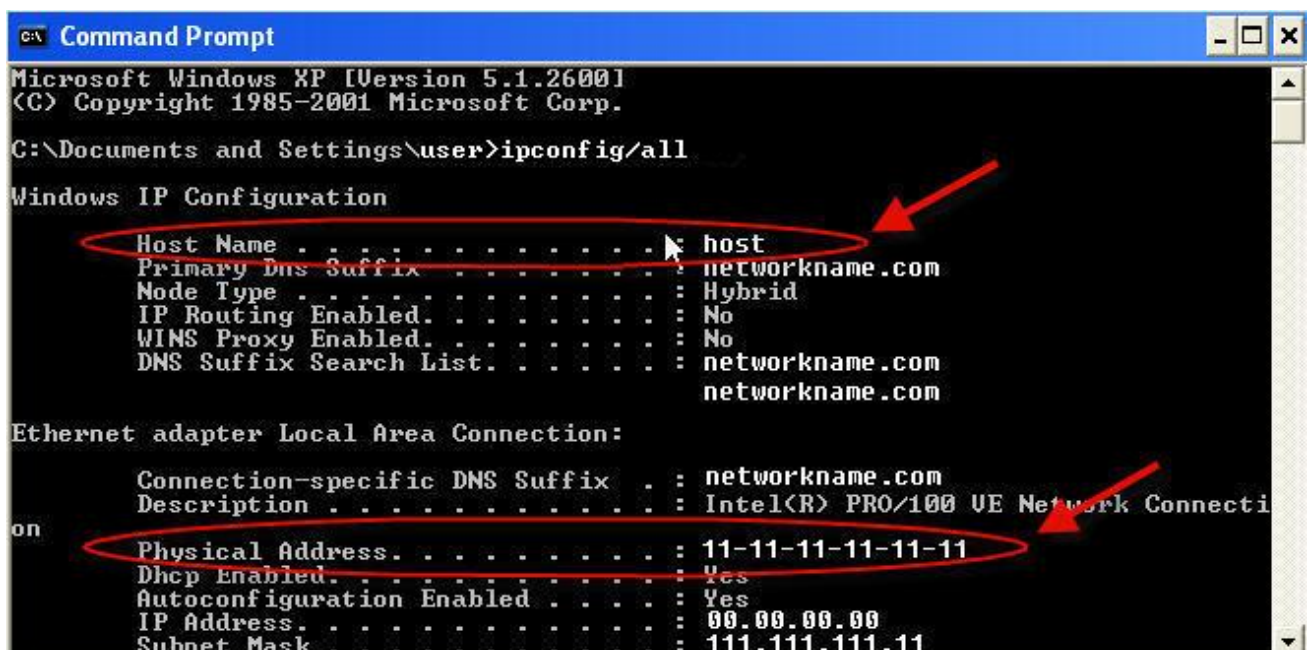
2. System Settings タブで **Computer/Hostname** と **Ethernet Address** を確認し、メモしておきます。



3. またはコマンドプロンプトを開き、次のコマンドを入力します：

```
ipconfig /all
```

コマンドプロンプトウィンドウでは、これらの 2 つの数量がホスト名と物理アドレスとして表示されます。



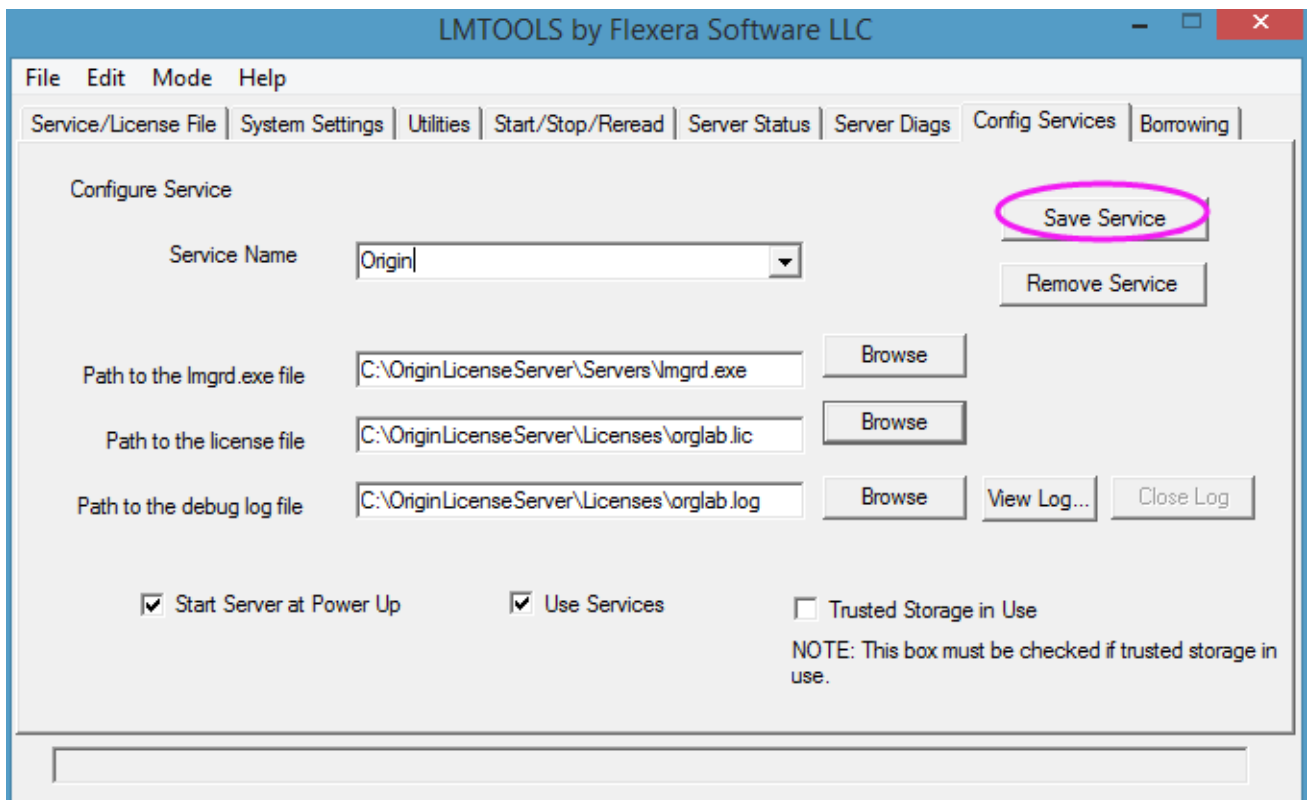
## ライセンスファイルを取得

1. <http://originlab.com> にアクセスして、ログインします。
2. ログイン後に表示されるページで、**登録済みの Origin 製品を表示**のリンクをクリックします。
3. お持ちのアカウントに対してすでにシリアル番号の登録がある場合、シリアル番号の一覧表に表示されます。
  - 今回のシリアル番号とバージョンに対して今までライセンスファイルを取得したことがなければ、**新しいシリアル番号を登録する**ボタンをクリックしてください。
  - 以前にも同じシリアル番号・バージョンに対してライセンスを取得したことがあれば、シリアル番号の横にあるチェックボックスにチェックを付け、表の下にある **FLEXnet ライセンスを取得**ボタンをクリックしてください（FLEXnet を別のマシンに移行中で、システム移行のリクエストを送信済みの場合等）。
4. 『Origin を登録し、また、コンピュータに入れるべきライセンスファイルを取得したい』ラジオボタンを選び、「**次に進む**」ボタンを押します。
5. シリアル番号、バージョンなどを入力して**登録**をクリックします。
6. その後、FLEXnet server の **Computer/Hostname** (コマンドプロンプトでは**ホスト名**)と**ホスト ID** (これは LMTTOOLS に表示される **Ethernet Address** です。あるいは、コマンドプロンプトに表示される**物理アドレス**です。ダッシュ("-")は除きます)。
7. 『**送信**』ボタンをクリックし、ライセンスファイルを生成します。
8. 処理が成功すると、ライセンステキストが表示されます。ライセンステキストをコピーして、メモ帳等のテキストエディタに貼り付けます。
9. テキストエディタで『**ファイル**>名前を付けて保存』を選択します。**ファイルの種類**ですべての**ファイル(\*.\*)**を選択します。FLEXnet サーバーの \Licenses\ フォルダに orglab.lic という名前で保存します。これは推奨の保存場所です。ですが、他の好きな場所に保存することができます。Licenses\ フォルダに移動し、保存したファイルが orglab.lic.txt.ではなく orglab.lic であることを確認します。

## FLEXnet サービスの設定と起動

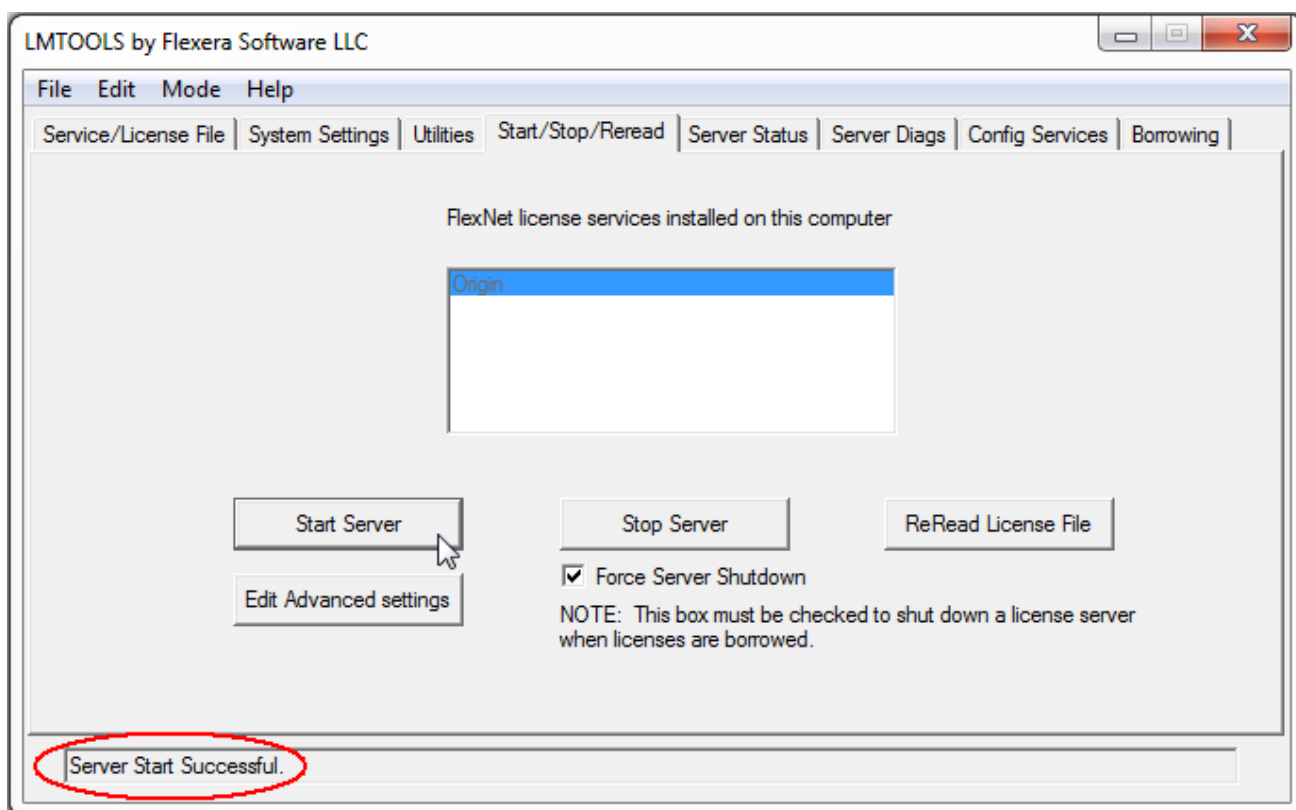
1. FLEXnet サーバーの \Tools\ フォルダから **LMTTOOLS.exe** を実行します。Windows Server 2012, 2008, Windows Vista, Windows7 Windows8 では、「LMTtools.exe」で右クリックして、「**管理者として実行**」を選択して開きます。
2. **Service/License File** タブで **Configuration Using Services** を選択します。
3. **Config Services** タブで「OriginLab」か、自分で選んだ名前を **Service Name** テキストボックスに入力します。
4. **Path to the Imgrd.exe file** フィールドで、ブラウズボタンをクリックして、FLEXnet サーバー \Servers\ フォルダをブラウズします。開いたダイアログで **Imgrd.exe** ファイルを選択します。
5. **Path to the license file** フィールドで、ブラウズボタンをクリックして、FLEXnet サーバー \Licenses\ フォルダをブラウズします。開いたダイアログで **orglab.lic** ファイルを選択して、**開く**ボタンをクリックします。

6. デバッグログファイルはまだありません。サーバーは、このテキストボックスに入れたテキストに基づいて作成されます。**Path to the license file** のテキストボックスからテキストを全てコピーして、**Path to the debug log file** テキストボックスに貼り付けます。ファイル名の拡張子は**.log** になります。
7. **Use Services** チェックボックスにチェックを入れます。
8. サーバコンピュータが起動したときに、自動的に FLEXlm ライセンスサービスを実行させたい場合は、**Start Server at Power Up** にチェックをつけます。
9. **Save Service** をクリックします。



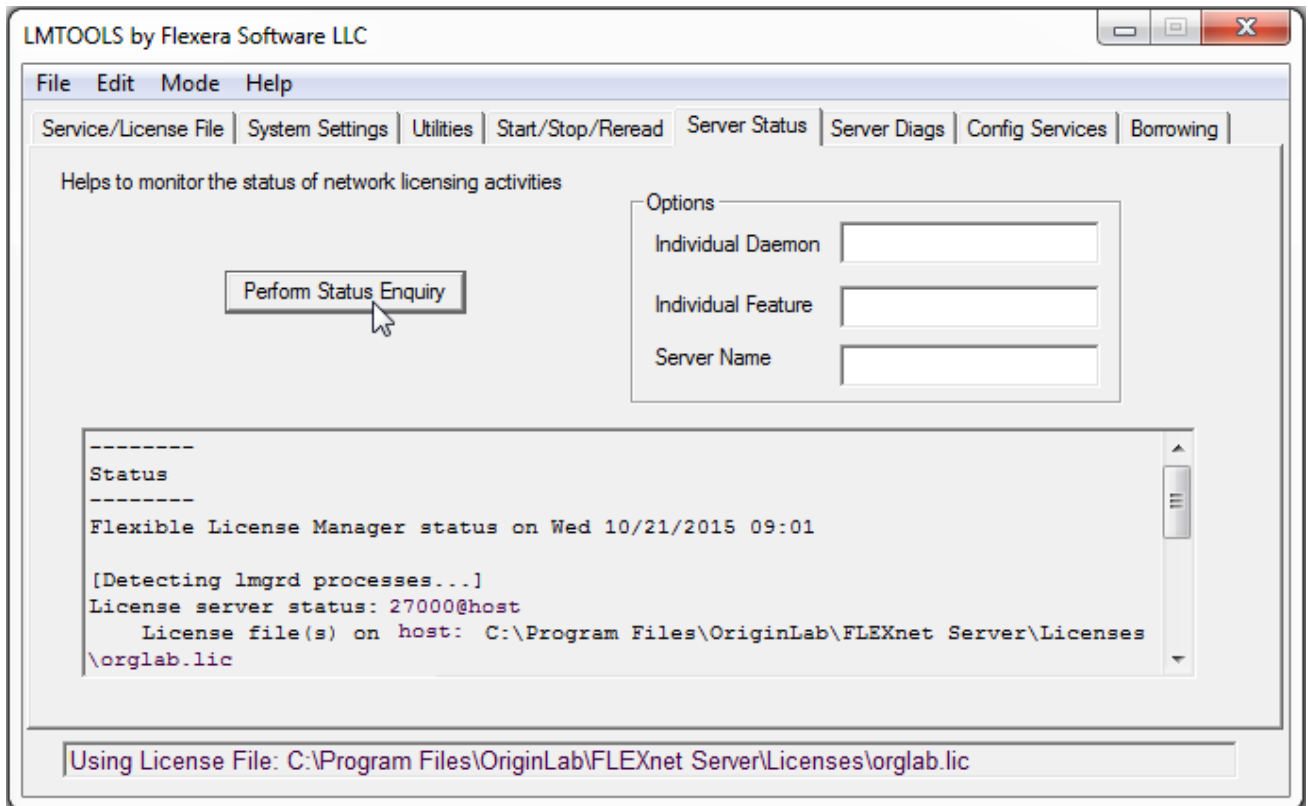
10. 「Start/Stop/Reread」タブで **Force Server Shutdown** チェックボックスを選択します。

11. **Start Server** ボタンをクリックします。"Server Start Successful"メッセージが、LMTOOLS のステータスバーに表示されます。





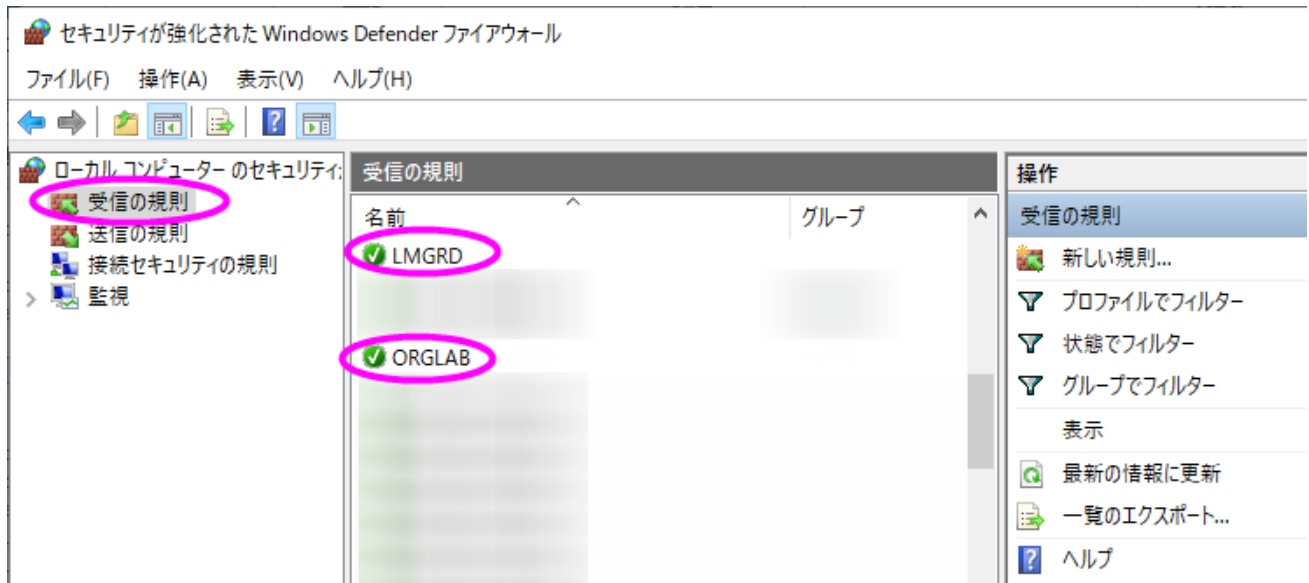
12. Server Status タブで、Perform Status Enquiry ボタンをクリックします。ステータスウィンドウは関連する機能利用の情報を報告します。



13. FLEXnet サーバーがインターネット接続のファイアウォールに設定されているか確認します。受信の規則に以下のプログラムがファイアウォールを通過できるように追加します。2 つとも FLEXnet サーバーの **Servers** フォルダにあります。

- **LMGRD.EXE** - FLEXnet ライセンスマネージャー
- **ORGLAB.EXE** - Origin ベンダーデーモン





## クライアントに Origin をインストール、またはファイルサーバに展開

### 5.2. Linux の FLEXnet サーバの設定方法

次のシリアル番号は、ネットワーク同時起動版ライセンスです。

xxxxx-2xxx-79xxxxx, または、  
xxxxx-3xxx-79xxxxx

シリアル番号が、

xxxxx-9xxx-xxxxxxxx, または、  
xxxxx-6xxx-xxxxxxxx の場合は、

別のライセンスですので、このページの情報は関係ありません。

ネットワーク同時起動版は、組織内のコンピュータならばいくつにでもインストールおよび設置をすることができます。ただし、FLEXnet サーバ (OriginLab 社提供) をインストールし、ライセンス管理のために設定がされているコンピュータ (ワークステーション、または、サーバー) に、各コンピュータは接続する必要があります。すでに FLEXnet ライセンス管理を他のソフトウェアで使用している場合、この同じコンピュータを使って Origin を管理するように設定できます。ただし、これを行うためには OriginLab 社が対応している FLEXnet のバージョンでなければなりません。

FLEXnet サービスで、契約したときの同時起動台数に基づいて、Origin を同時に起動できる台数を制限します。例えば、同時起動台数が 25 ユーザで契約している場合、同時に起動できる Origin の台数は 25 台以下になります。Origin を実行すると、Origin の「貸し出し」オプションがあります。指定した期間、FLEXnet サーバ外から、Origin を利用できます。

- [1 Linux で新規に FLEXnet サーバを設定する方法](#)
  - [1.1 FLEXnet 用に安定したコンピュータを選ぶ](#)
  - [1.2 FLEXnet サーバのダウンロード](#)
  - [1.3 FLEXnet サーバのインストール](#)

- [1.4 OriginLab の WEB サイトでライセンスファイルを取得する](#)
- [1.5 FLEXnet サービスの設定と起動](#)
- [1.6 クライアントに Origin をインストール、またはファイルサーバに展開](#)
- [2 関連情報](#)

## 5.2.1. Linux で新規に FLEXnet サーバを設定する方法

### FLEXnet 用に安定したコンピュータを選ぶ

次のようなコンピュータを選びます。

- ネットワーク・トラフィックが少なく、安定している(頻繁に再起動しない)。
- Origin を使用する可能性のあるコンピュータ全てと通信できる。また、FLEXlm ライセンスサーバとクライアントが TCP/IP プロトコルで通信できる。
- RAM 容量 64MB 以上

OriginLab は FLEXnet ライセンスサーバー(既に FLEXnet サーバーがある場合にはベンダーデーモンのみ)を次のオペレーティングシステムに提供します。

- Red Hat Enterprise Linux

Flexera Software の要求ページにある、追加の FLEXnet プラットフォームに関しては、OriginLab は現在サポートしていません。プラットフォームへの追加サポートについては、OriginLab 社のテクニカルサポートにコンタクトしてください:[OS サポートリスト](#)

Imgrd OriginLab が提供する 32 ビットアプリケーションは、32 ビットと 64 ビットの両方の Linux オペレーティングシステムにインストールできます。

- 32 ビットシステムの場合、Linux Standard Base (LSB)ライブラリをインストールする必要があります。

```
sudo yum install redhat-lsb-core
```

- 64 ビットシステムの場合、32 ビット Imgrd をインストールするには、32 ビットライブラリをインストールする必要があります。

```
sudo yum install redhat-lsb-core.i686
```

## FLEXnet サーバのダウンロード

### FLEXnet サーバー (OriginLab ベンダーデーモンを含む)

Linux 用の FLEXnet サーバーはバージョン 11.13.1.2 です。

OS	ファイル
Linux	<a href="#">Linux FLEXnet Server ver 11.13.1.2.zip</a>

### OriginLab ベンダーデーモンのみ

異なるソフトウェアベンダーからの FLEXnet サーバーを既に持っている場合、その FLEXnet で Origin を管理するためのサービスを設定することが出来ます。この場合、OriginLab のベンダーデーモンと、Origin をサービスの為のライセンスだけが必要となります。異なるソフトウェア用の FLEXnet サーバーを使用する場合、FLEXnet ユーザーガイドにある通り、FLEXnet コンポーネントとのバージョンによる互換要求を考慮しなくてはなりません。

Linux 用の FLEXnet サーバーはバージョン 11.13.1.2 です。

OS	ファイル
Linux	<a href="#">orglab.gz</a>

## FLEXnet サーバのインストール

以下のコマンドを入力して Linux\_FLEXnet\_Server\_ver\_11.13.1.2.zip を解凍してください。

```
unzip -p Linux_FLEXnet_Server_ver_11.13.1.2.zip
```

## OriginLab の WEB サイトでライセンスファイルを取得する

1. 同時起動シリアル番号とバージョンをご用意ください。
2. FLEXnet サーバのホスト名とホスト ID を確認します。

```
./lmutil lmhostid -hostname
```

これはシステムのホスト名を返します。(lmutil コマンド実行時に"bad ELF interpreter"というエラーが表示されたときどうしたらよいでしょうか?)

例えば、次の出力があった場合にホスト名は **my-computer** です。

```
./lmutil lmhostid -hostname

lmhostid - Copyright (c) 1989-2015 Flexera Software LLC. All Rights Reserved.

The FlexNet Host ID of this machine is "HOSTNAME= my-computer"
```

```
./lmutil lmhostid
```

これはシステムのホスト ID を返します。例えば、次の出力があった場合にホスト ID は **000c294dc666** です。

```
./lmutil lmhostid

lmhostid - Copyright (c) 1989-2015 Flexera Software LLC. All Rights Reserved.

The FlexNet Host ID of this machine is ""000c294dc666 000c294dc667""
```

### 3. ライセンスファイルを取得します。

1. [www.originlab.com](http://www.originlab.com) を開きます。「サポート」メニューの下にある「Origin のライセンス/登録」リンクをクリックします。
2. 既に Web メンバーシップを持っている場合はログインします。必要な場合はアカウントを作成してください。
3. お持ちのアカウントに対してすでにシリアル番号の登録がある場合、ログインをすると「Origin 製品の登録」ページがあります。
  - 今回のシリアル番号とバージョンに対して今までライセンスファイルを取得したことがなければ、**新しいシリアル番号を登録ボタン**をクリックしてください。
  - 以前にも同じシリアル番号・バージョンに対してライセンスを取得したことがあれば、シリアル番号の横にあるチェックボックスにチェックを付け、表の下にある **FLEXnet ライセンスを取得ボタン**をクリックしてください。(FLEXnet を別のマシンに移行中で、システム移行のリクエストを送信済みの場合等)
4. 『Origin を登録し、また、コンピュータに入れるべきライセンスファイルを取得したい』ラジオボタンを選び、「次へ進む」ボタンを押します。
5. シリアル番号、バージョンなど必要項目を入力して「登録」ボタンを押します。
6. FLEXlm サーバのホスト名と物理アドレスを入力して「送信」ボタンを押し、ライセンスファイルを取得します。
7. 処理が成功すると、ライセンステキストが表示されます。ライセンステキストをコピーして、メモ帳等のテキストエディタに貼り付けます。
8. ライセンステキストを **.lic** ファイルとして保存します。例えば、*orglab.lic* とするとよいでしょう。多くの場合、ライセンスファイルは FLEXnet サーバの \Licenses\ フォルダに保存されますが、違う場所に保存しても構いません。

## **FLEXnet サービスの設定と起動**

```
./lmgrd -c <path>orglab.lic -l [+]<path>orglabDebug.log
```

Orglab.lic は OriginLab 社の Web サイトから入手したライセンスファイルの場所です。

## Origin ライセンス

例えば、/home/originlab/orglab.lic にライセンスファイルがある場合、サービスを開始するために次のコマンドを入力します。また前のデバッグログの内容を保存するには、ログファイルの下から新しいデバッグ情報を追加します。

```
./lmgrd -c /home/originlab/orglab.lic -l +/home/originlab/orglabdebug.log
```

または、サービスを開始して、前のデバッグログ内容を消すには、次のコマンドを使うことができます。(コマンドが実行されると、デバッグログファイルは消されます)

```
./lmgrd -c /home/originlab/orglab.lic -l /home/originlab/orglabdebug.log
```

ライセンスサーバーが動作していることを確認するために `lmutil lmstat` ユーティリティを使用します。

```
./lmutil lmstat -a -c <path>orglab.lic
```

## クライアントに Origin をインストール、またはファイルサーバに展開

以下の資料は、展開方法のヒントです。ネットワーク同時起動版/マルチシート両方に対応しています。

- [直接インストールする](#)
- [MSI インストール](#)
- [サイレントインストール](#)
- [インストールパッケージを作成](#)
- [Windows ターミナルサーバや Citrix 等のリモートアクセスサーバで Origin をインストール](#)
- [サービスリリースを展開](#)
- [サービスリリースを含んだカスタム Origin ファイルを公開](#)

## 5.3. FLEXnet クライアント初期設定

### 5.3.1. Origin の初期設定での FLEXnet サーバー情報の入力

Origin の初回起動時にライセンス情報ダイアログが表示され、ホスト名または IP アドレスを入力するように促されます。ポート番号のテキストボックスは、FLEXnet と Origin パソコンとの間にファイアウォールがある場合以外を除いて、空欄にしておきます。

The screenshot shows the 'License Information' dialog box with the following fields and annotations:

- Name:** User Name
- Company:** Company Name
- Serial Number:** GF354-3000-70000000
- FLEXlm Server:** ServerName
- TCP/IP Port:** (Empty)

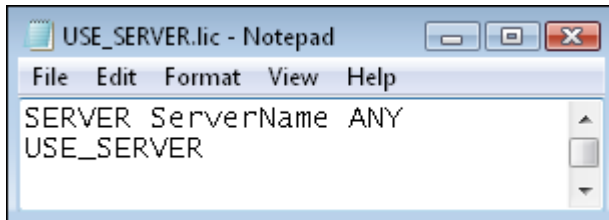
Annotations in pink boxes:

- 1. ライセンスサーバの名前またはIPアドレスを入力** (Points to the ServerName field)
- 2. ポート番号を入力 (任意)** (Points to the TCP/IP Port field)
- 3. Updateをクリック** (Points to the Update button)

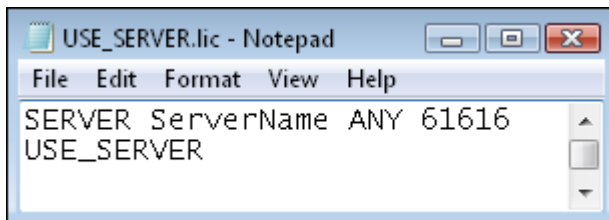
Note: ポート番号はファイアウォールの設定等に応じて任意に設定します。設定が無い場合は入力する必要はありません。

FLEXlm サーバについての情報を入力して「更新」ボタンを押すと、「ライセンスの更新が正常に完了しました」というメッセージが表示されます。正常に完了すると、Origin は、今後 Origin を起動する際に読み込む USE\_SERVER.lic ファイルを作成します。このライセンスファイルの保存場所を見つける場合には、メインメニューの**環境設定:オプション**を開き、システムパスタブを選択します。

このファイルは:



ライセンス情報ダイアログで入力した、サーバー名がホスト名または IP アドレスを含みます。また、ファイアウォールのためにポート番号を入力した場合、USE\_SERVER.lic には



ライセンス情報ダイアログで入力したポート番号及び、サーバー名がホスト名または IP アドレス、FLEXnet サーバライセンスファイルの SERVER 行に入力した 61616 がポート番号であることを含みます。

## 5.4. ネットワーク同時起動版の追加情報

- [1 追加ライセンス管理情報](#)
  - [1.1 ネットワーク外で、同時起動版の Origin を利用する](#)
    - [1.1.1 ユーザーパソコンにライセンスを借し出しする。](#)
    - [1.1.2 ローミングプロファイルでの注意](#)
    - [1.1.3 借り出し日数の変更](#)
  - [1.2 既存の FLEXlm サーバで Origin を管理](#)
    - [1.2.1 既存の FLEX サーバを使って、Origin サーバを設定する](#)
    - [1.2.2 以下もご覧ください:](#)
  - [1.3 ファイアウォールのアクセスを許可する!](#)
    - [1.3.1 ファイアウォールの設定](#)
    - [1.3.2 FLEXnet サーバでの設定](#)
    - [1.3.3 Origin のクライアントでの設定](#)

- [1.3.4 トラブルシューティング](#)
- [1.4 同時起動ユーザの追加](#)
- [1.5 FLEXnet サーバの 3 台冗長構成](#)
  - [1.5.1 ライセンスファイルの取得](#)
  - [1.5.2 ライセンスファイルの編集](#)
  - [1.5.3 FLEXnet サービスの設定](#)
  - [1.5.4 Origin の設定](#)
- [1.6 オプションファイルと Origin の使用を制限する方法](#)
  - [1.6.1 一般情報](#)
  - [1.6.2 例:](#)
- [1.7 ネットワーク同時起動版で、Origin 標準版と OriginPro 版を混在させる方法](#)
  - [1.7.1 混在したネットワーク同時起動版のライセンスの取得](#)
  - [1.7.2 FLEXnet サーバーへの接続](#)
  - [1.7.3 Origin 標準版と OriginPro の切り替え](#)
- [2 メンテナンス更新後のライセンス更新](#)
- [3 ネットワーク同時起動版パッケージをアップグレードする場合](#)
  - [3.1 新しいライセンスの取得ステップと、このライセンスでのサービスの更新](#)
  - [3.2 以下もご覧ください](#)
- [4 サーバーのライセンス取り外し](#)

### 5.4.1. 追加ライセンス管理情報

ネットワーク同時起動ライセンスの設定の基本ステップに加えて、次の追加トピックスをご覧ください

FLEXnet ライセンス管理システムのさらなる情報は、FLEXnet サーバー|[Help](#)|フォルダにインストールされた FLEXnet ドキュメントをご覧ください。

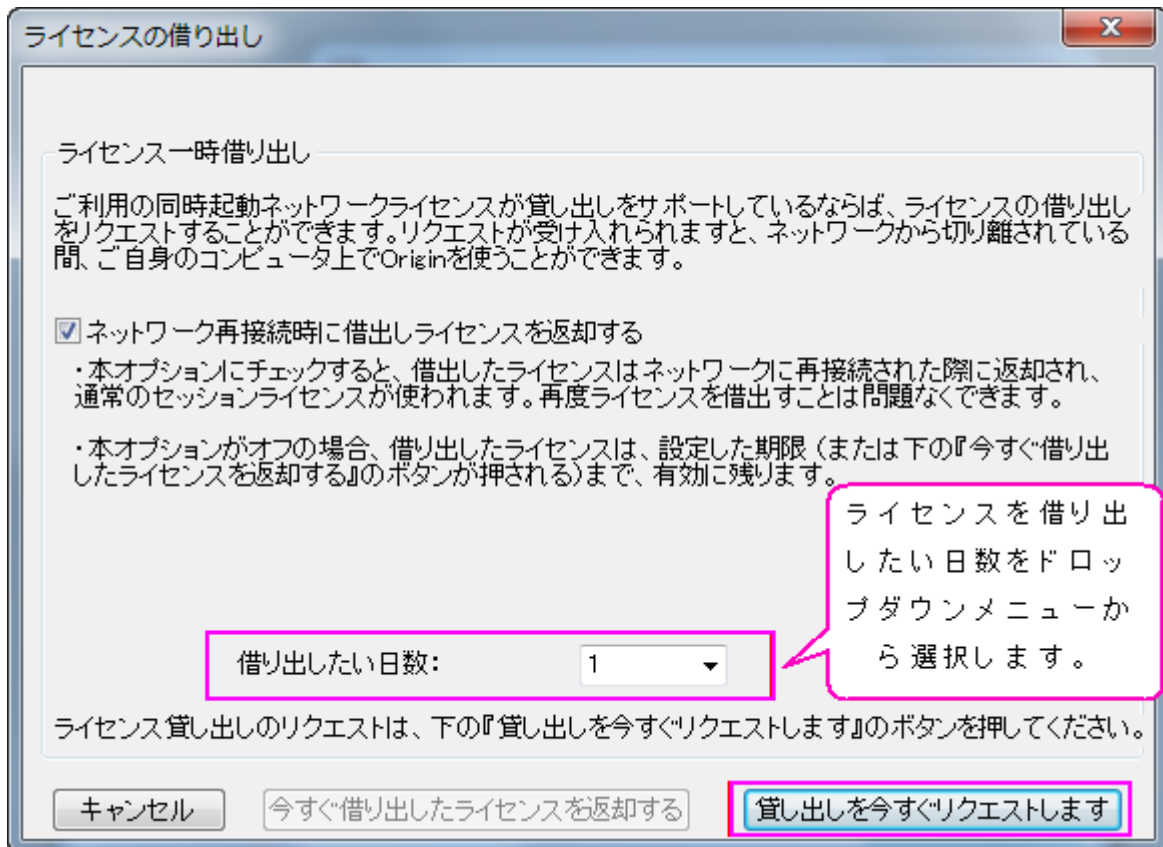
### ネットワーク外で、同時起動版の Origin を利用する

FLEXlm 同時起動ネットワーク管理は、ライセンス借り出し機能をサポートしています。これは、Origin を FLEXlm サーバから切り離しても、限られた時間の範囲で Origin を引き続き実行できることを意味します。初期設定では、最大貸出し日数は 1 週間です。この最大期間の情報は OriginLab の Web サイトで取得した、FFLEXnet サーバーライセンスファイルに埋め込まれています。もし、最大限の借り出し期間(最大 1 年間)よりも、短いまたは長く必要とする場合は、OriginLab [RegInfo@OriginLab.com](mailto:RegInfo@OriginLab.com) までお知らせください。(日本では、正規代理店ライトストーン社にお知らせください)

#### ユーザーパソコンにライセンスを借し出しする。

1. Origin を起動します。ヘルプ:バージョン情報を選択します。

2. ライセンスボタンをクリックします。
3. ライセンス借り出しボタンをクリックします。
4. ライセンスを借り出したい日数をドロップダウンメニューから選択します。



**NOTE:** ライセンスファイルにある最大日数よりも 1 日少ない日数がドロップダウンリストの最大日数です。要求した日数が表示されている日数にある場合は、マニュアルで日数を書き換えます。  
例えば、100 日をリクエストするには、100 と**借り出したい日数**のボックスに入力します。

5. 「貸し出しを今すぐリクエスト」ボタンをクリックします。
6. ライセンスが正常に借り出されたことを示すメッセージが表示されます。
7. **ネットワーク再接続時に借出しライセンスを返却する**にチェックを入れた場合には、Origin を再起動する前に、パソコンをネットワークから切断してください。

**NOTE:**

**ネットワーク再接続時に借出しライセンスを返却する**にチェックが入っている場合、ネットワークが接続されたまま Origin を再起動すると、自動的にライセンスが返却されてしまいます。

### ローミングプロファイルでの注意

FLEXlm のライセンス借り出し機能では、ローミングプロファイルはサポートされません。しかし、次の手順でローミングプロファイルでの貸出しを行うことができます。



### ライセンスを貸出しするには:

1. ローミングプロファイルを使用した状態でコンピュータにログインする(コンピュータがネットワークに接続されている状態で行う)
2. Origin を起動し、ライセンスの借り出しを行います。
3. Origin を閉じます。
4. ネットワークから切断したあとで、コンピュータをシャットダウンする。(シャットダウンの前に接続を切ると、ローミングプロファイルサーバーにそれを保存する代わりに、ローカルに保存することが出来ます。

### 貸出しライセンスに接続する:

1. コンピュータを起動し、ローミングプロファイルを使ってコンピュータにログインする(ネットワークに接続しない状態で行う)
2. コンピュータをネットワークに接続する
3. Origin を起動します。貸出しライセンスは自動的に返却されます。

### 借り出し日数の変更

1. [OriginLab 社のライセンスサポートに連絡する](#)。長期の借り出し日数のライセンスファイルが必要な場合はお知らせください。Origin のシリアルナンバーと、新規の借り出し日数を指定します。
2. いつ、リクエストされた最大日数を含む、新規のライセンスファイルを取得出来るかを、OriginLab からお知らせします。
3. FLEXnet サービスを停止します。
4. 現在の FLEXnet ライセンスファイルはバックアップ保存してください。
5. 古いライセンスファイルに上書きされるよう、新しいライセンスファイルを保存します。
6. FLEXnet サービスを再起動します。

### 既存の FLEXIm サーバで Origin を管理

Origin の FLEXnet サービスを設定しようとしているコンピュータが、既に他のソフトウェアを FLEXnet で管理している場合、既にあるこのコンピュータで Origin のライセンス管理を行うことができます。その他のソフトウェアと同じ Imgrd を使えるように、Origin FLEXnet サービスを設定すると、最も簡単です。あるいは、他のソフトウェアがインストールされている Imtools 使って、Origin を設定することができます。

### 既存の FLEX サーバを使って、Origin サーバを設定します。

 [ビデオチュートリアル「既存の FLEX サーバを使って、Origin サーバを設定」をご覧ください。](#)

1. OriginLab ベンダーデーモンを Imgrd が保存されているフォルダに保存します。OriginLab ベンダーデーモンは、Origin DVD、または、OriginLab のウェブサイトからご利用可能です。(Windows OS、`\Concurrent FLEXnet Servers\Windows\OriginLab Vendor Daemon Only\`をご覧ください。

- Origin の FLEXnet サーバライセンスを OriginLab のウェブサイトから入手して、既存 FLEXnet サーバ \\Licenses\フォルダにライセンスを保存します。
- 既存 Imtools を使って、Origin サービスを設定して起動します。

同じコンピュータでの複数 FLEXnet サービスの設定についての詳細は、OriginLab ウェブサイトにある「FLEXnet ライセンス管理ガイド」[ダウンロード](#)をご覧ください。

### 関連情報:

- Windows の FLEXnet サーバ設定方法
- Linux の FLEXnet サーバの設定方法

## ファイアウォールのアクセスを許可する

外部からの FLEXnet サーバへのアクセスをファイアウォールに許可させるには、2 つのポート番号をファイアウォールで開放してライセンスファイルに追加する必要があります。設定方法は以下の手順です。大きなサイト等の、FLEXnet の情報については、次の追加 Tips をご参照ください。

### ファイアウォールでの設定

- FLEXnet サーバの内部 IP アドレスはファイアウォール上の外部アドレスに対応する必要があります。
- セキュリティ上の理由から、FLEXnet の初期設定の 27000~27009 の範囲外の 2 つの開放 TCP/IP ポート番号を選択してください。
  - 1 つのポートは Imgrd.exe 用で、FLEXnet が提供する License Server Manager です。
  - もう 1 つのポートは orglab.exe 用で、OriginLab が作成したベンダーデーモンです。

### FLEXnet サーバでの設定

OriginLab が作成したライセンスファイルは初期状態ではポート番号が記入されていません。そのためファイアウォールで開放したポート番号をライセンスファイルに追加する必要があります。

- FLEXnet が起動している場合は停止します。
- テキストエディタで FLEXnet のライセンスファイルを開きます。
- 1 つのポート番号を SERVER 行の末尾にスペースで区切って直接記入します。
- もう 1 つのポート番号を VENDOR 業の末尾に `port=` で始まるように記入します。
- 例えば、61616 と 61617 を使う場合は、ライセンスファイルを次のように編集します:

```
SERVER my_server 17007ea8 61616
VENDOR orglab port=61617
```

- ライセンスファイルのほかの部分は何も変えないでください。編集したライセンスファイルは上書き保存してください。

7. FLEXnet サービスを再起動します。

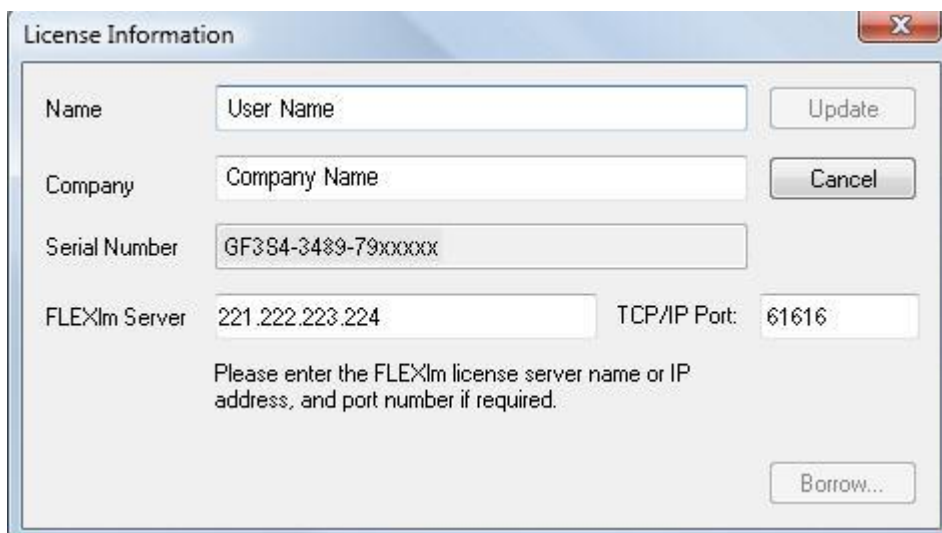
1. 2つのポート番号を FLEXnet サーバマシンのファイアウォールの受信ルールに追加します。受信ルールで Imgrd.exe と orglab.exe を削除します。

### Origin のクライアントでの設定

全ての Origin ユーザーは Origin を再起動してライセンス情報を再度アップデートする必要があります。下記が操作方法です。

1. **FLEXIm Server** テキストボックスにある、外部の FLEXnet サーバ IP アドレスを入力します。
2. SERVER 行の **Port Number** テキストボックスにポート番号を入力します。

例:ファイアウォール上の FLEXnet サーバの外部 IP アドレスが 221.222.223.224 で、ファイアウォール上の **SERVER** ポートが 61616 のとき、ライセンス情報ダイアログボックスは次のように表示されます。



### トラブルシューティング

もしファイアウォールを通して FLEXnet サーバに接続できない場合は、

1. FLEXnet サーバのマシに戻って ools.exe を実行します。Server Status タブに移動して Status Enquiry を実行し、サーバが正常に動作していることを確認します。
2. Config Services タブに移動して Log を確認します。
3. Log ファイルを tech@lightstone.co.jp へお送りください。

### 追加 Tips

上記の手順は、FLEXnet サーバと Origin のクライアントの間にファイアウォールがある全ての場合に利用出来ます。しかし、大きなサイトなどの一定の条件下では、追加のステップを求めるユーザーが存在します。

1. **ライセンス情報**ダイアログボックスに、サーバーの IP アドレスを入力する際、このアドレスは、DNS からは取得されていないと推察します。FLEXnet サーバー名が DNS に無い場合、サーバーの全体的な認定ドメイン名は FLEXnet サーバーのテキストボックスに入力されていません。
2. 数が多い場合は、各マシンの Origin で License information ダイアログをアップデートするのは大変です。USE\_SERVER.lic ファイルを編集することをお勧めします。もし Origin が以前に FLEXnet サーバーにうまく接続出来ていた場合は、ライセンスフォルダにある、USE\_SERVER.lic という名前のテキストファイルが生成されています。ライセンスフォルダは Origin を実行すると確認できます。メニューから「環境設定: オプション」を選択し、システムパスタブに移動します。手動で編集することができます。  
ポート番号を追加する前、このファイルは次のテキストを含みます:

```
SERVER <サーバー名> ANY
USE_SERVER
```

3. サーバー名は、ホスト名または、Origin が以前に接続されていた FLEXnet サーバーの IP アドレスです。
4. Origin のライセンスファイルをマニュアルで編集するには:

1. `ServerName` をホスト名または FLEXnet サーバーの IP アドレスに変更します。
2. ANY の後、ファイアウォール上で開かれたサーバーのポート番号を追加します。

例: FLEXnet サーバーの IP アドレスが 221.222.223.224 で、ファイアウォールの FLEXnet ポート 61616 の場合、USE\_SERVER.lic ファイルは次のように表示されます:

```
SERVER 221.222.223.224 ANY 61616
USE_SERVER
```

## 同時起動ユーザの追加

さらにユーザを同時起動ネットワークに追加するには、OriginLab または販売代理店から追加ユーザ分をまず注文して頂きます。注文を頂くと、注文処理が進んでいる内容のお知らせが届きますので、次のように実行してください:

1. OriginLab の Web サイトに行きます。
2. 以前に FLEX ライセンスファイルを取得した際に使用した、Web メンバーシップアカウントでログインします。
3. ログインすると、「登録済みの Origin 製品を表示」ページがあります。該当するシリアルナンバーの隣にあるチェックボックスにチェックを入れ、下のテーブルにある FLEXnet ライセンスを取得ボタンをクリックします。
4. ホスト名と事前に入力したホスト ID が入力されます。申請ボタンをクリックします。
5. Web ページに新しいライセンスファイルが表示されます。ライセンスファイルのテキストをコピーし、メモ帳などに貼り付けます。
6. FLEXnet サービスを停止します。
7. 古いライセンスファイルはバックアップを取り、新しいライセンスファイルを古いライセンスファイルに上書きします。

8. FLEXnet サービスを再起動し、新規のライセンスが正しく読まれているかを確認します。

## **FLEXnet サーバの 3 台冗長構成(Three-Server Redundancy)**

Origin は、Macrovision's FLEXnet ライセンスエンドユーザガイド内(第 3 章のセクション「3 サーバによる冗長構成」)で説明されているサーバの 3 台冗長構成(Three-Server Redundancy)をサポートしています。

FLEXlm サービスについての Origin 固有の情報:

### **ライセンスファイルの取得**

FLEXnet サーバを 3 つ選択した後、OriginLab に連絡して、ライセンスファイルを取得してください。

E メール: tech@lightstone.co.jp

e-mail には、FLEXnet サーバの 3 台冗長構成(Three-Server Redundancy)用のライセンスファイルをリクエストしていることを明記してください。また、Origin のシリアル番号とバージョン情報、3 台冗長構成にする 3 台のコンピュータすべてのホスト名と物理アドレス(ホスト ID)をも知らせください。

折り返し、OriginLab がライセンスファイルをお送りします。

### **ライセンスファイルの編集**

ライセンスファイルを受け取った後、次の手順で編集します。

1. ライセンスファイルには、3 つの SERVER 行があります。最初の SERVER 行は、MASTER のものになります。マスターとして異なるサーバを設定するには、ライセンスファイルの SERVER 行の順を変更します。
2. 次に、ライセンスファイルの各 SERVER 行に、TCP/IP ポート番号を加えます。各 SERVER 行(FLEX サーバ)のポートは、TCP/IP ポートが未使用ポートで、1024 から 32000 の間に限ります。各 FLEX サーバで、この範囲で未使用ポートを見つけて、ライセンスファイルの各 SERVER 行でポート番号を指定する必要があります。各 SERVER 行では同じポート番号を使用することができます(このポート番号が未使用である場合)。または、異なるポート番号の指定もできます。例えば、同じポート番号(2837)が未使用で、SERVER 行に指定されている場合は次のようになります。

```
SERVER hostname1 hostid1 2837
SERVER hostname2 hostid2 2837
SERVER hostname3 hostid3 2837
```

### **FLEXnet サービスの設定**

各コンピュータでサービスを設定すると、各サービスが起動します。

各コンピュータでステータスの要求します。(3 台のコンピュータ全てが、他の 2 台を「検知」します。)

ステータスは 3 つの LMGRD プロセスの検出をレポートします。さらに、MASTER サーバは、タグ付け「MASTER」になります。

## Origin の設定

3 台のサーバーが設定できたら、Origin を起動します。起動時に、**ライセンス情報**ダイアログが表示されます。以下のように編集します。

### FLEXIm サーバーテキストボックス:

3 台の FLEXIm サーバー名や IP アドレスをセミコロンで区切って入力します。ライセンスファイル内で、次のようにします。

```
hostname1;hostname2;hostname3
```

### TCP/IP ポートテキストボックス:

ライセンスファイルの各 SERVER 行にポート番号があります。TCP/IP ポートテキストボックスにポート番号を入力します。また、ライセンスファイルにあるものと同じ順序で入力して、セミコロンで区切る必要があります。ライセンスファイル内で、次のようにします。

```
2837; 2837; 2837
```

(この場合、ポート番号は全て同じです。異なる場合、ライセンスファイルにあるように入力する必要があります。)

## オプションファイルと Origin の使用を制限する方法

### 概要

オプションファイルでの Origin の使用を制限します。例: Origin の使用または Origin の貸出しを、特定のユーザのみに制限したい場合、または、Origin のライセンスをチェックしたい場合、あるいは、特定のユーザに Origin の実行を制限したいといった場合などです。もしくは、所属組織が Origin ユーザの複数グループがある時など、それぞれのグループで Origin を同時に起動できるユーザ数を制限することが出来ます。これらを実行するには、オプションファイルを使うことが出来ます。

Origin は、Origin FLEXnet サーバーのヘルプフォルダにインストールされている、「LicenseAdministrationGuide.pdf」に記載している通り、オプションファイルの使用をサポートしています。

OriginLab 社では、オプションファイルの名前は *orglab.opt*、保存場所はライセンスファイルと同じフォルダにすることを推奨しています。これを行うために、ライセンスファイルに何らかの変更を行う必要はありません。

### サンプル

**例 1:** 10 個の OriginPro ライセンスは、IP で定義された 2 つのサブネットにあるコンピュータにリザーブされています。4 個の OriginPro ライセンスは IP で定義された 3 番目のサブネットにあるコンピュータにリザーブされていて、15 分以内にチェックインします。

```
HOST_GROUP CHEM_BIO_subnets 149.171.194.*149.171.195.*
```

```
HOST_GROUP PHYSICS_subnet 129.94.216.*
```

```
RESERVE 10 OriginPro HOST_GROUP CHEM_BIO_subnets
```

```
RESERVE 4 OriginPro HOST_GROUP PHYSICS_subnet
```

```
TIMEOUT OriginPro 900
```

**Note:** 最小タイムアウト時間は、15 分または 900 秒です。Origin か OriginPro でライセンスを確認する際に、無効になるまでの制限時間を「秒」でオプションファイルに入力しなければなりません。TIMEOUT に FEATURE 名を含む必要があります。Origin か OriginPro は、オプションファイルにシンタックスで入力される必要があります。例えば、「TIMEOUT Origin 900 or TIMEOUT OriginPro 900」のようになります。ライセンスが Origin と OriginPro の両方を含んでいる場合、オプションファイルで TIMEOUT 時間を指定している FEATURE に、1 行を追加しなければなりません。

**サンプル 2:** IP アドレスに基づいて、Origin を実行するユーザを制限します。

```
HOST_GROUP exclude_these_computers 10.10.10.37 10.10.10.57
```

## Origin ライセンス

```
EXCLUDEALL HOST_GROUP exclude_these_computers
```

**サンプル 3:** コンピュータ名に基づいて、Origin を実行するユーザを制限します。

```
HOST_GROUP exclude_these_computers computer1 computer2
```

```
EXCLUDEALL HOST_GROUP exclude_these_computers
```

**サンプル 4:** OriginPro を実行できるユーザグループを定義して、二番目のユーザグループもボローモード (borrow mode) で OriginPro を実行できるようにします。

```
GROUP origin_users user1 user2 user3 user4 user5 user6
```

```
INCLUDEALL GROUP origin_users
```

```
GROUP origin_borrowers user1 user4
```

```
INCLUDE_BORROW OriginPro GROUP origin_borrowers
```

**サンプル 5:** 1 つの同時起動ライセンスを、特定ユーザ (Bill) のためにリザーブします。これは、機密である場合です。

```
RESERVE 1 OriginPro USER Bill
```

**サンプル 6:** ライセンスがグループユーザにリザーブされます。この場合、グループメンバーは一人のみです。これは、機密ではない場合です。

```
GROUPCASEINSENSITIVE ON
```

```
GROUP ReservedUsers bill
```

```
RESERVE 1 OriginPro GROUP ReservedUsers
```

**サンプル 7:** 機密ではない場合に、ユーザにライセンス、マシン、IP アドレスをリザーブします。

```
GROUPCASEINSENSITIVE ON
```

```
HOST_GROUP ReservedHostMachines einstein currie galileo 123.123.123.123  
456.456.456.456
```

```
GROUP ReservedUsers Jack Jill Hansel Gretel
```

```
RESERVE 1 OriginPro USER bill
```

```
RESERVE 4 Origin GROUP ReservedUsers
```

```
RESERVE 1 OriginPro HOST kepler
```

```
RESERVE 5 Origin HOST_GROUP ReservedHostMachines
```

## ネットワーク同時起動版で、Origin 標準版と OriginPro 版を混在させる方法

ネットワーク同時起動版で、Origin 標準版と OriginPro 版の両方を混在させて、一つのサーバーライセンスで管理することが出来ます。このパッケージでは、OriginPro のシリアルナンバーでインストールされた OriginPro は、Origin 標準版ライセンスに移行して Origin 標準版の機能を使うことが出来、OriginPro のライセンスが利用できる場合は、マニュアルで OriginPro に戻り、OriginPro の機能を使うことが出来ます。Origin 標準版のシリアル番号でインストールされた Origin 標準版は、



OriginPro が利用できる場合でも、OriginPro ライセンスには移行出来ません。ソフトウェア管理者は、Origin 標準版の機能だけが必要なユーザーには、OriginPro ライセンスと競合するリスクを低減するために、Origin 標準版のシリアルナンバーを割り当てたいと思われま。OriginPro ライセンスの数を増やしたい場合には、OriginLab にご連絡ください。

## 混在したネットワーク同時起動版のライセンスの取得

このパッケージには 2 つのシリアル番号 (Origin 通常版と Pro 版) が付属します。シリアル番号の末尾 7 桁はいずれも同じです。

1. [www.originlab.com/reginfo](http://www.originlab.com/reginfo) にログインします。
2. "新しいシリアルナンバーを取得"をクリックします。
3. 『Origin を登録し、また、コンピュータに入れるべきライセンスファイルを取得したい』ラジオボタンを選び、「次へ進む」ボタンを押します
4. Origin のバージョンを選択し、シリアルナンバーを入力します。Origin 標準版のシリアルナンバーと OriginPro 版のシリアルナンバーの両方を使うことが出来ます。Origin 標準版と OriginPro 版が混在する場合はウェブサイトが認識し、的確なライセンスを提供します)「次へ」をクリックします。
5. サーバーのホスト名とホスト ID を入力し、「送信」をクリックします。ライセンスが作成されます。ライセンスファイルには 2 つの FEATURE 行があり、一つは Origin 標準版用、もう一つが OriginPro 版用です。
6. FLEXnet サーバーのインストールと起動には、次の手順 [FLEXnet サーバーの設定](#) に従ってください。

## FLEXnet サーバーに接続

1. Origin 標準版または OriginPro 版のシリアルナンバーで Origin をインストールします。
2. Origin のアイコンを右クリックして「管理者として実行」で Origin を起動します。
3. ライセンス情報ダイアログが開きます。FLEXnet サーバー名 (必要あれば TCP/IP ポートも) を入力します。更新ボタンをクリックして、FLEXnet ライセンスサーバーからライセンスを確認します。
  1. Origin 標準版、OriginPro 版のどちらも、与えられた標準ライセンスで Origin 標準版として起動します。これは通常、Origin 標準版ライセンスよりも Pro 版ライセンスの方が少ないからです。ソフトウェア管理者は、OriginPro の機能を本当に必要としているユーザー以外には、OriginPro ライセンスを取得したくないと考えます。
  2. Origin 標準版のライセンスが取得された場合、OriginPro は OriginPro は OriginPro ライセンスを確認します。
4. どのライセンスを現在使用しているかによって、“Origin”または“OriginPro”が、アプリケーションのタイトルバーに表示されます。標準ライセンスが確認された場合、OriginPro の機能は利用できません。

## Origin 標準版と OriginPro の切り替え

1. メインメニューのヘルプをクリックし、バージョン情報を選択します。
2. ライセンスをクリックします。



3. ライセンス情報ダイアログが開きます。
4. OriginPro のラジオボタンを選択し、更新ボタンをクリックします。
5. OriginPro ライセンスが利用できない場合は、“OriginPro ライセンスは現在利用できません。時間を置いてから再度更新してください”と表示されます。
6. OriginPro ライセンスが利用出来る場合は、“OriginPro ライセンスは正しく更新されました”と表示されます。  
OriginPro の機能を有効にする前に、OriginPro を再起動させる必要があります。再起動した後、“Origin”または“OriginPro”でないという表示される場合には、その間に他のユーザーが OriginPro ライセンスを使ってしまったということです。その場合は、Origin 標準版の機能しか使えません。
7. 一度 Origin 標準版を OriginPro に切り替えると、ライセンス情報ダイアログから Origin 標準版にマニュアルで切り替えられない限り、以後は OriginPro のままです。
  - ライセンス情報ダイアログで、Origin 標準版にマニュアルで切り替えた場合、
  - 利用可能な OriginPro ライセンスがないと、Origin 標準版のライセンスが利用可能かどうかを調べようとします。Origin 標準版の機能のみが利用可能となります。

### 5.4.2. メンテナンス更新後のライセンス更新

メンテナンスを更新した後は、新規に FLEXnet サーバーライセンスを取得する必要があります。このライセンスには、新しいメンテナンスの期限日が含まれています。ライセンスを更新すると、メンテナンス更新のメッセージを表示しなくなり、Origin のダイアログは、正確なメンテナンス期限を表示します。

メンテナンスの更新が進んだ後は、次のステップで、新しい FLEXnet サーバーライセンスを取得してください。

1. [www.originlab.com/reginfo](http://www.originlab.com/reginfo) のページを開きます。
2. 以前に FLEX ライセンスファイルを取得した際に使用した、Web メンバーシップアカウントでログインします。
3. ログインすると、“Manage my License(s)” ページに移動します。該当するシリアルナンバーの隣にあるチェックボックスにチェックを入れ、下のテーブルにある **FLEXnet ライセンスを取得** ボタンをクリックします。
4. ホスト名と事前に入力したホスト ID が入力されます。申請ボタンをクリックします。
5. Web ページに新しいライセンスファイルが表示されます。ライセンスファイルのテキストをコピーし、メモ帳などに貼り付けます。
6. FLEXnet サービスを停止します。
7. 古いライセンスファイルはバックアップを取り、新しいライセンスファイルを古いライセンスファイルに上書きします。
8. FLEXnet サービスを再起動し、新規のライセンスが正しく読まれているかを確認します。

### 5.4.3. ネットワーク同時起動版パッケージをアップグレードする場合

前のバージョンの Origin 管理用に、既に FLEXnet サービスを利用している場合は、現在のバージョンのライセンスを取得して、サービスを更新する必要があります。FLEXnet が更新されると、新しいバージョンの Origin を起動させて利用できるよう

になり、前のバージョンの Origin も引き続き起動することが出来ます。このサービスは Origin が起動している全数をカウントし、購入数を超えないよう管理します。

**Note:**

1. Origin 及び OriginPro2016 以降のバージョンには、FLEXnet 11.13.0.2 以降が必要です。詳細はこちらを確認してください。
2. バージョン 8.0 ユーザーは、SR2 以降で起動する必要があります。バージョン 7.5 ユーザーは、SR7 で起動する必要があります。

## 新しいライセンスの取得ステップと、このライセンスでのサービスの更新

### [ビデオチュートリアルをご覧ください - 最新の Origin バージョンでの FLEXnet サービスの更新](#)

1. www.originlab.com/reginfo のページを開きます。
2. 既に Web メンバーシップを持っている場合はログインします。必要な場合はアカウントを作成してください。(ログイン後、Web メンバーシップに属した Origin のシリアルナンバーを持っている場合は、"Manage my License(s)" で確認出来ます)この場合、「新しいシリアル番号を登録する」ボタンをクリックします。
3. 『Origin を登録し、また、コンピュータに入れるべきライセンスファイルを取得したい』ラジオボタンを選び、「次へ進む」ボタンを押します。
4. Origin のバージョンを選択し、Origin のシリアル番号を(以前のバージョンと同様に)選択/入力します。
5. FLEXnet サーバーのホスト名と、イーサネット(マック)アドレスを入力し、ライセンスファイルを取得します。
6. OriginLab ウェブサイトに表示されているライセンスファイルをコピーします。
7. FLEXnet が起動していたら停止します。
8. FLEXnet サーバーライセンスファイルを捜し、違う場所にバックアップとして保存します。
9. FLEXnet サーバーライセンスファイルをメモ帳などで開きます。現在あるライセンステキストと、Originlab のウェブサイトから取得したテキストを上書きして入れ替えます。
10. ライセンスを上書き保存し、同じ名前と場所で保存してあることを確認します。Windows Server 2008, 2012, Windows Vista, 7, 8, 8.1 及び 10 では、WIndows バーチャルストアよりも、更新されたライセンスが正しいフォルダに保存されているかどうかを確認してください。
11. FLEXnet サービスを再起動し、問題なく動いていることをステータスエンクイリーで確認します。



ライセンスファイルを交換した後、サーバーが起動しなくなった場合には、ステップ 7 でサーバーが正しく停止しなかった可能性があります。**タスクマネージャーのサービスダイアログ**を開きます。Origin のライセンスサーバーがバックグラウンドで動いていることを確認します。動いていれば、停止して再起動します。

#### 5.4.4. サーバーのライセンス取り外し

システムの移行は、FLEXnet ライセンス管理プログラムをインストールしたサーバ PC を別のサーバ PC に変更する場合にのみ必要となります。クライアント PC の Origin を別のコンピュータにインストールする場合には、システムの移行作業は不要です。

ライセンスを取り外すには、OriginLab の Web ページで、システムの移行リクエストに要件を記入する必要があります。

1. [www.originlab.com](http://www.originlab.com) に移動しログイン
2. Web ページが開いたら、"Manage my License(s)" をクリックします。
3. 該当するシリアル番号の隣にあるチェックボックスにチェックを入れ、「もはや使われていないライセンスサーバーを報告」



## 6 学生版ライセンス

**NOTE:** この説明は Origin 2017 以降のバージョンに対するものです。バージョン 2016 以降をご利用されている場合は、こちらのページをご覧ください。

- [1 重要事項](#)
- [2 プロダクトキーの入手](#)
- [3 ライセンスのアクティブ化](#)
- [4 ライセンスの取り外し](#)
  - [4.1 Origin をコンピュータで、まだ実行できる場合](#)
  - [4.2 Origin をコンピュータで実行できない場合](#)
- [5 新しいバージョンに更新](#)

### 6.1. 重要事項

- 学生版ライセンスでは、1 台の個人 PC にのみ OriginPro をインストールできます。
- 1 年間の学生版ライセンスを購入頂くと、有効期間内にアップグレードがあった場合に、更新することが可能です。日本では、6 か月の学生版は販売しておりません。
- 学生版のアップグレードの選択をすると、旧バージョンをインストールしたコンピュータに新バージョンのライセンスを入力する必要があります。アップグレードを行う前に、別の新しいパソコンにライセンスを移行したい場合には、新しいコンピュータにアップグレードする前に、古いコンピュータからライセンスを取り外します。(こちらをご参照下さい [ライセンスの取り外し](#))

### 6.2. プロダクトキーの入手

#### OriginLab が販売代理店から製品を購入した場合

1. 購入後、Origin のシリアル番号と認証のリンクが記載されている Email、  
または  
Origin のシリアル番号と登録コードが印刷されているライセンス証書が届きます。  
または  
代理店から登録コードが届きます。
  - Email を受け取った場合、

2. 登録用のリンクをクリックして、Origin の Web サイトに移動します。ログインまたは新規登録を求められます。既に Web メンバーシップを持っている場合はログインします。必要な場合はアカウントを作成してください。
  3. ログイン後、あなたの登録コードとシリアル番号情報が Web ページに表示されます。登録 ボタンを押して、このシリアル番号を登録し、プロダクトキーを入手します。
  4. Origin 製品の登録/ライセンスリクエストページで、(1) プロダクトキーが生成されます。
- 代理店からライセンス証書または登録コードを受け取った場合
2. OriginLab のウェブサイト(www.OriginLab.com)を手動で開きます。ログインするかアカウントを作成する必要があります。
  3. Welcome ページで"製品を登録する-バージョン 2017 (9.4)"リンクをクリックします。
  4. 製品登録のページで、要求された登録コードを入力し、次へボタンをクリックして子のシリアル番号を登録し、プロダクトキーを生成します。
  5. Origin 製品の登録/ライセンスリクエストページで、(1) プロダクトキーが生成されます。

#### OntheHub (アメリカとカナダのみ)から製品を購入した場合

1. ご購入後にメールが届きます。このメールには、Origin のシリアル番号と登録用のリンクが含まれています。

## 6.3. ライセンスのアクティブ化

1. Origin の管理者から、シリアル番号と関連するプロダクトキーを受けとります。
2. Origin を起動します。ライセンスのアクティブ化ダイアログを開きます。
3. 次のプロダクトキーを入力し、アクティブ化をクリック のオプションを選択し、プロダクトキーを入力します。アクティブート クリックします。
4. ライセンスプロセスはバックグラウンドで行われます。ライセンスングが成功すると、成功のメッセージが届きます。

#### ライセンスのプロセスが失敗した場合は、次のステップに進んで下さい:

5. 様々な理由によりライセンスプロセスが失敗した場合は(たとえば、インターネット接続がない、originlab.com サイトがファイアウォールでブロックされた場合など)、ノートパッドを開き、そのリンクを確認します。
6. リンクをコピーしてインターネットが接続されているブラウザソフトに貼り付けます。OriginLab の Web サイトが開きます。
7. ライセンスファイルテキストが作成され、WEB ページ上に表示されます。
8. ライセンスファイルテキストをコピーして、ライセンスのアクティブ化 ダイアログに戻り、貼り付けます。OK をクリックします。

## 6.4. ライセンスの取り外し

Origin のライセンスを別のコンピュータに移したい場合は、元のコンピュータからライセンスを取り外して新しいコンピュータにライセンスを入れる必要があります。

### 6.4.1. Origin をコンピュータで、まだ実行できる場合：

1. Origin を起動します。ヘルプ:ライセンスの取り外し から、ライセンスの取り外し ダイアログを開きます。
2. **今すぐライセンスの取り外しを行う** ボタンをクリックします。
3. ライセンスのプロセスはバックグラウンドで行われます。ライセンシングが成功すると、成功のメッセージが届きます。

ライセンスのプロセスが失敗した場合は、次のステップに進んで下さい：

4. 様々な理由によりライセンスプロセスが失敗した場合は(たとえば、インターネット接続がない、originlab.com サイトがファイアウォールでブロックされた場合など)、ノートパッドを開きリンクを確認します、。
5. リンクをコピーしてインターネットが接続されているブラウザソフトに貼り付けます。
6. ライセンス情報がページに表示されます。**除去コード**を確認します。
7. Origin に戻ります。**ライセンスの取り外し** ダイアログの下側にある、除去コードの編集ボックスに、**除去コード**を入力します。**ライセンスの取り外し** ボタンをクリックします。
8. ノートパッドにリンクを記入します。リンクをコピーしてインターネットが接続されているブラウザソフトに貼り付けます。
9. **続ける**ボタンをクリックします。完了のメッセージが出たら、ライセンスが再利用のために発行されます。

### 6.4.2. Origin をコンピュータで実行できない場合：

1. [www.originlab.com/reginfo](http://www.originlab.com/reginfo) に移動して、ログインしてください。
2. 取り外したいシリアル番号でクリックし、「処理」列にある**ライセンスを取り外す**をクリックします。
3. **デバイスからライセンスを取り外す**のページで、情報を確認し**続ける**をクリックしてライセンスを取り外します。もしライセンスの取り外しが成功した場合は、成功したことを示すメッセージが表示され、そのプロダクトキーを再利用できます。
4. もしライセンスの取り外しが失敗した場合は、**システムの移行リクエストフォーム**ページに自動的に移動します。リクエストのフォームを入力して送信してください。。

## 6.5. 新しいバージョンに更新

学生版ライセンスをご利用出来る期間は、最新のバージョンにアップグレードすることが出来ます。Origin を更新してアクティブ化するために、次のステップを実行してください。

**学生版のアップグレードの選択をすると、旧バージョンをインストールしたコンピュータに新バージョンのライセンスを入力する必要があります。**

1. OriginLab の Web サイトから新しいバージョンをダウンロードし、インストールします。
2. Origin を起動します。ライセンスプロセスは自動的にバックグラウンドで行われます。ライセンシングが成功すると、成功のメッセージが届きます。もし失敗した場合は、対応説明が記述されたメモ帳が開きます。説明に従って Origin をマニュアルでアクティブ化してください。

**アップグレードを行う前に、別の新しいパソコンにライセンスを移行したい場合には、新しいコンピュータにアップグレードする前に、古いコンピュータからライセンスを取り外します。**

ライセンスの取り外しについては[ライセンスの取り外しセクション](#)をご参照ください。



## 7 体験版ライセンス

### 7.1. 体験版ライセンスを取得する

1. Origin を起動します。**体験版ライセンスオプション** ダイアログが開きます。
2. **21 日間の体験版ライセンスを取得してください。** を選択し、**OK** をクリックします。
3. Web ブラウザソフトが立ち上がり、21 日間の体験版ライセンスリクエストのページが開きます。**進む** ボタンをクリックします。
4. ログインします。
5. メールアドレスが正しいか確認します(ライセンスはご登録のメールアドレス宛に送付されます)。
6. 「**体験版ライセンスファイルの取得**」をクリックします。
7. 受取った e メールからライセンスをコピーし、Origin の開いているボックス窓に貼り付けます。
8. 2 番目のボックスにライセンスを受信した email アドレスを入力します。
9. **OK** をクリックします。

ライセンスが正常に更新されたことを示すメッセージが表示されます。Origin 体験版は 21 日間ご利用出来ます。

#### NOTE:

1. Origin 通常版 (または OriginPro 板) の体験版をインストールした後に、OriginPro 板(または Origin 通常版)に変更したい場合には、メインメニューの **ヘルプ:体験版を OriginPro 板として実行する** にチェックを入れて(またはチェックを外して)変更出来ます。
2. 購入した正規版では、新しいコンピュータからライセンスを移動する、または新規ユーザにライセンスファイルを割り当て治すには前に、ライセンスを取り外す必要があります。この操作は、体験版には適用されません。

体験版がコンピュータにインストールされている場合には、次の 2 つの方法で、体験版から製品版(シリアル番号を必要とします)に切り替えることが出来ます。

- **体験版ライセンスオプション** ダイアログで、最後のオプション **このコンピュータをアクティブにする** を選択し、**OK** をクリックします。開いている**ライセンスのアクティブ化** ダイアログで、プロダクトキーを入力して体験版を製品版に変更します。  
または、
- **体験版から製品版に変更** を選択し、開いている**ライセンスのアクティブ化** ダイアログにプロダクトキーを入力します。



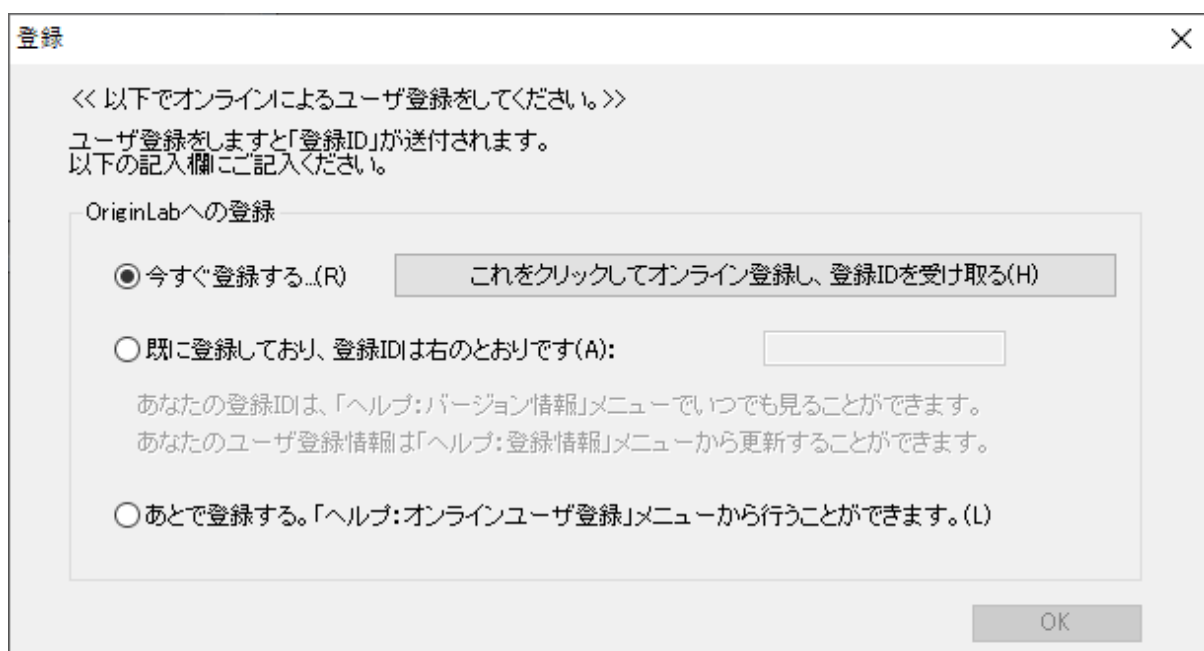
## 8 バージョン 2019 以前の dongle (ハードウェアキー) 版

### 8.1. Dongle (ハードウェアキー) で Origin を起動

1. Dongle のシリアル番号で Origin をインストールします。
2. Dongle を USB ポートに差し込みます。
3. 初回は、Origin のアイコンで右クリックし、『**管理者として実行**』を選択して Origin を開きます。
4. **登録** ダイアログが開きます。登録は必須ではありませんが、より良いサポートをご提供するために役立ちます。

Origin を登録するには、

1. **これをクリックしてオンライン登録し、登録 ID を受け取るボタン**をクリックします。



2. OriginLab のウェブサイトがブラウザで開きます。ログインまたはアカウントを作成します。
3. 登録 ID が作成されます。この ID をコピーし、Origin に戻って貼り付けます。

この時、登録を行いたくない場合には、**あとで登録する**を選択します。次に Origin を起動する際、**OriginLab 登録** ダイアログが開きリマインドします。



## 9 クライアントに Origin をインストール、またはファイルサーバに展開

以下の資料は、展開方法のヒントです。ネットワーク同時起動版/マルチシート両方に対応しています。

- [直接インストールする](#)
- [MSI インストール](#)
- [サイレントインストール](#)
- [インストールパッケージを作成](#)
- [Windows ターミナルサーバや Citrix 等のリモートアクセスサーバで Origin をインストール](#)
- [サービスリリースを展開](#)
- [サービスリリースを含んだカスタム Origin ファイルを公開](#)



## 10 バージョン 2016 以前のライセンス



これらのライセンス案内はバージョン 2016 以前に対するものです。ライセンスのシステムはバージョン 2017 から更新されました。Origin2017 以降のバージョンをご利用頂いている場合は、こちらのページをご覧ください。

シリアル番号とライセンスタイプを確認し、次のインストール情報のヘルプトピックに関連したリンクをご参照ください。

ライセンスタイプ	シリアル番号	ヘルプトピック
シングルユーザ ノードロック	xFxxx-9xxx-70/71/72xxxxx xFxxx-6xxx-70/71/72xxxxx	シングルユーザ ノードロックライセンス
マルチユーザ ノードロック	xFxxx-9xxx-76xxxxx xFxxx-6xxx-76xxxxx	マルチユーザ ノードロックライセンス
同時起動ネットワーク版	xxxxx-2xxx-79xxxxx xxxxx-3xxx-79xxxxx	Windows の FLEXnet サーバ設定方法
		Linux の FLEXnet サーバの設定方法
		FLEXnet クライアント初期設定
		ネットワーク同時起動版の追加情報
学生版	xxxxx-xxxx-72xxxxx (1 年) xxxxx-xxxx-76xxxxx (6 ヶ月)	学生版ライセンス
ハードウェアキー( dongle )版	dongle での出荷	ハードウェアキー版

### 10.1. バージョン 2016 以前のライセンスファイル版

次のシリアル番号はライセンスファイル版です:

xFxxx-9xxx-70/71/72xxxxx, または  
xFxxx-6xxx-70/71/72xxxxx

シリアル番号が、

xxxxx-2xxx-79xxxxx, または  
xxxxx-3xxx-79xxxxx,

ネットワーク同時起動版ですので、このページの情報は関係ありません。

ライセンスファイル版は、Origin を一人のコンピュータにインストールできます。OriginLab のウェブサイトから、このコンピュータにライセンス(メインのライセンス)を取得する必要があり、このライセンスはコンピュータを指定します。メンテナンス期間中は、メイン PC 以外のライセンスをノート PC や自宅用 PC などに取得できます。このライセンスは、メンテナンス期間中に利用でき、メンテナンス期間を更新している限り、継続して使うことができます。

Origin のライセンスのあるコンピュータを交換したい場合は、新しいコンピュータにライセンスを移行する前に、「ライセンスの取り外し」をする必要があります。



これらのライセンス案内はバージョン 2016 以前に対するものです。ライセンスのシステムはバージョン 2017 から更新されました。Origin2017 以降のバージョンをご利用頂いている場合は、こちらのページをご覧ください。

## [1 ライセンスファイル版のアクティブ化](#)

### [1.1 重要事項](#)

#### [1.2 コンピュータがインターネットに接続されている場合](#)

#### [1.3 コンピュータがインターネットに接続されていない場合](#)

#### [1.4 参考](#)

#### [1.5 FAQ](#)

## [2 ライセンスファイル版のライセンスの取り外し](#)

### [2.1 Origin をコンピュータで、まだ実行できる場合](#)

#### [2.1.1 コンピュータがインターネットに接続されている場合](#)

#### [2.1.2 コンピュータがインターネットに接続されていない場合](#)

### [2.2 Origin をコンピュータで実行できない場合](#)

#### [2.3 FAQ](#)

## [3 メンテナンス更新後、ライセンスファイル版のライセンスをアップデート](#)

## 10.1.1. ライセンスファイル版のアクティベーション

### **重要事項**

- マルチシートライセンスで処理を行う場合、必ず管理者権限でコンピュータにログインしてください。
- Windows 10, 8.1, 8, 7 および Vista で Origin を管理者として実行するには、Origin のプログラムアイコンを右クリックして、「管理者として実行」を選びます。
- 一度処理が終わるとライセンスはコンピュータに保存されるので、それ以降はインターネット接続は必要ありません。

### **コンピュータがインターネットに接続されている場合**

#### [ビデオチュートリアル - インターネット接続があるコンピュータでライセンスを取得](#)

1. Origin を起動します。ダイアログが開き、ライセンスを取得する方法がいくつか選択できるようになっています。
2. 一番目の選択肢、このコンピュータはインターネットに接続されており、オンラインでライセンスファイルをただ今、取得しますを選択します。OK をクリックします。
3. コンピュータ情報ダイアログが開きます。ここに表示されるコンピュータ情報は OriginLab の WEB サイトに反映されます。OK をクリックします。



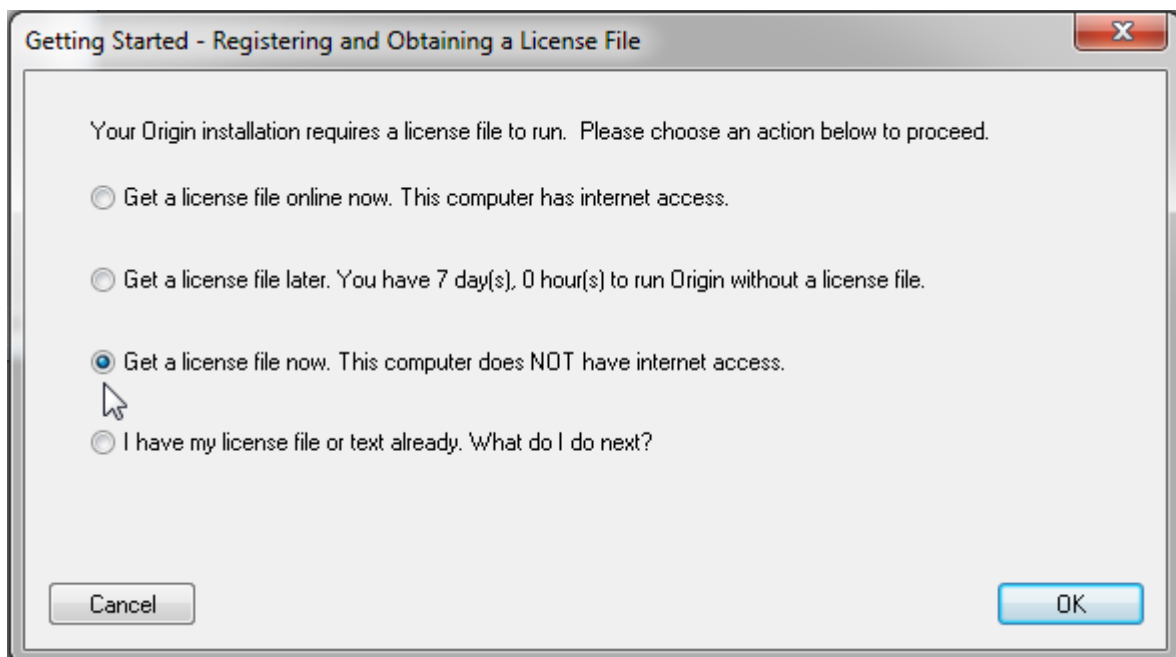
4. ウェブブラウザが開き、OriginLab の WEB サイトにログインする画面が表示されます。既に Web メンバーシップを持っている場合はログインします。必要な場合はアカウントを作成してください。
5. ログイン後、「メイン PC ライセンス」か「メイン PC 以外のライセンス」かを選択します。メンテナンス期間が切れたとき、メイン PC 以外のライセンスは使用できなくなります。進むをクリックします。
6. ライセンスファイルが作成され、WEB ページ上に表示されます。ライセンステキストを全てコピーします。
7. Origin に戻り、ライセンス入力ダイアログにライセンステキストを貼り付けたら、OK をクリックします。

## コンピュータがインターネットに接続されていない場合

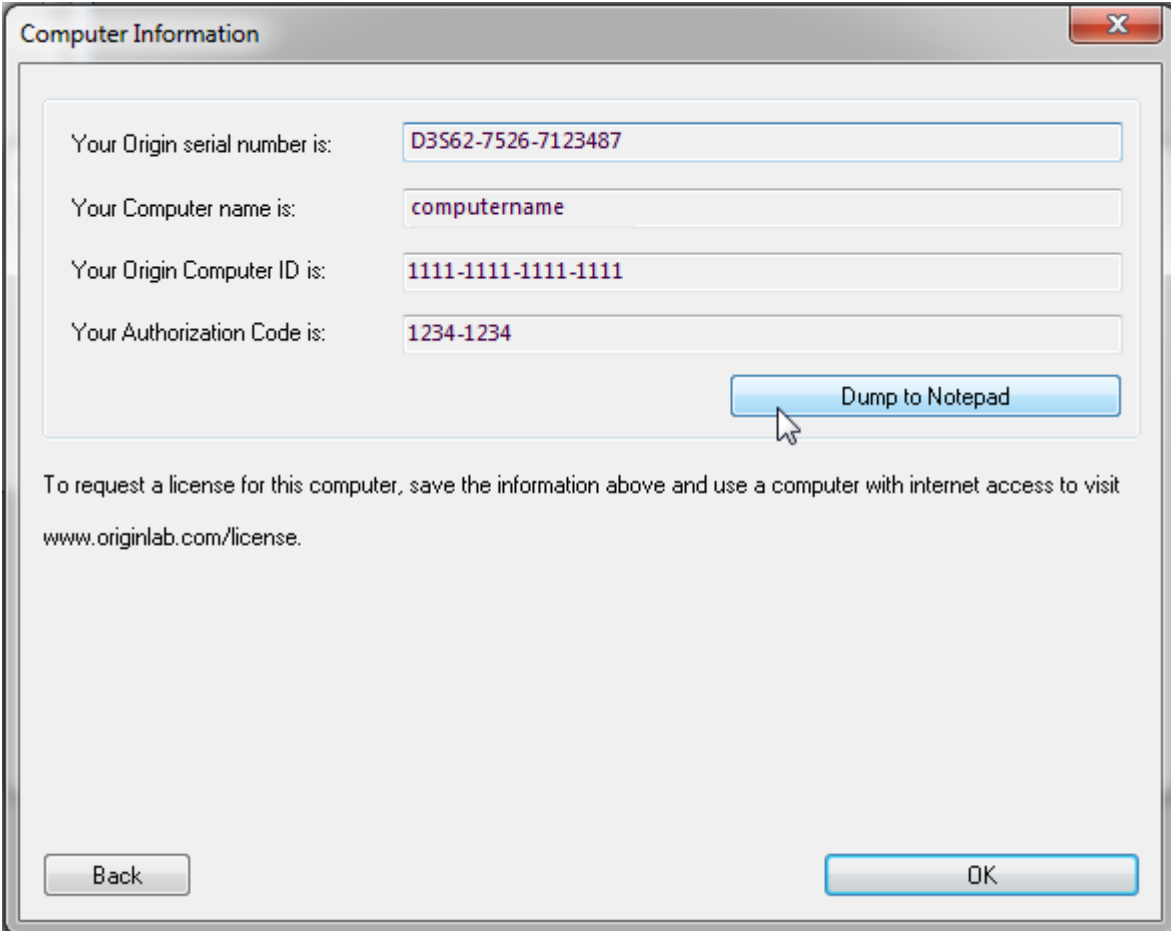
### [ビデオチュートリアル - インターネット接続がないコンピュータでライセンスを取得](#)

実際に Origin を使用するコンピュータがインターネットに接続されていない場合でも、インターネットに接続できる別のコンピュータは必ず必要になります。このインターネット接続のあるコンピュータで、ライセンスを取得します。処理を行うには、インターネット接続がないコンピュータのコンピュータ ID、許可コード、シリアル番号が必須です。

1. Origin を起動します。ダイアログが開き、ライセンスを取得する方法がいくつか選択できるようになっています。
2. 3 番目のオプションライセンスファイルを今すぐ取得このコンピュータはインターネットに接続していませんを選択し、OK をクリックします。



3. ダイアログが開き、シリアル番号、コンピュータ名、コンピュータ ID、許可コードを表示します。メモ帳エディタに出力をクリックして、これらの情報をテキストファイルに保存します。



Computer Information

Your Origin serial number is:

Your Computer name is:

Your Origin Computer ID is:

Your Authorization Code is:

To request a license for this computer, save the information above and use a computer with internet access to visit [www.originlab.com/license](http://www.originlab.com/license).

4. インターネットに接続されているコンピュータに移動します。Web ブラウザで **www.originlab.com** を開きます。
5. サポートメニューの下にあるサービス:「**Origin のライセンス/登録**」リンクをクリックします。既に Web メンバーシップを持っている場合はログインします。必要な場合はアカウントを作成してください。
6. 初めて登録またはライセンス認証をする場合、ログイン後にオプション **Origin** を登録してライセンスファイルを取得するを選択して、次にをクリックします。シリアル番号とバージョンを入力して次に進むをクリックします。以前、Origin に登録したり、ライセンスを取得している場合、登録済みの Origin 製品を表示します。
  - 新しいシリアル番号のライセンスを取得、新しいシリアル番号を登録ボタン、**Origin** を登録してライセンスファイルを取得するオプションを選択して、次にをクリックします。シリアル番号とバージョンを入力して次に進むをクリックします。
  - ライセンス一覧に表示されていない新バージョンのライセンスを取得するには、新しいシリアル番号を登録ボタンをクリックして、**Origin** を登録してライセンスファイルを取得するオプションを選択して、次にをクリックします。シリアル番号とバージョンを入力して次に進むをクリックします。
  - 既にライセンス一覧に表示されているシリアル番号とバージョンを取得するには、一覧で(そのバージョンの)シリアル番号リンクをクリックします。「ライセンス要求履歴」のページが開いたら、表の上にある**新しいコンピュータ用のライセンスを取得する**ボタンをクリックします。
7. Origin のコンピュータ ID、コンピュータ名、アクセスコードを入力し、登録をクリックします。

8. 「メイン PC のライセンス」か「メイン PC 以外のライセンス」かを選択します。メンテナンス期間が切れると、メイン PC 以外のライセンスは使用できなくなりますので、ご注意ください。
9. ライセンスファイルが作成され、WEB ページ上に表示されます。ライセンステキストを全てコピーします。
10. メモ帳等のテキストエディタを開き、ライセンステキストを貼り付けます。テキストファイルをフラッシュドライブやディスクに保存します。
11. Origin をインストールしたコンピュータに戻ります。コンピュータの詳細がライセンスダイアログに表示されている場合、**戻る**ボタンをクリックして、メインのライセンスダイアログに戻ります。メインのライセンスダイアログで、すでにライセンスファイルを取得済みを選択します。**次に何をすればいいのですか？**を選択し、**OK** をクリックします。
12. **ライセンス入力**ダイアログに、ライセンステキストを貼り付けたら、**OK** をクリックします。

## 10.1.2. ライセンスファイル版のライセンスの取り外し

ライセンスが成功した後、プロダクトキーは Web 上で「Used」と表記され、他のコンピュータでは利用出来なくなります。Origin のライセンスを別のコンピュータに移したい場合は、元のコンピュータからライセンスを取り外して新しいコンピュータにライセンスを入れる必要があります。元のコンピュータにアクセスできない場合は、OriginLab の Web ページから、**システムの移行リクエスト**を行ってください。

### Origin をコンピュータで、まだ実行できる場合：

 [ライセンスの取り外し-ビデオチュートリアルをご覧ください。](#)

#### コンピュータがインターネットに接続されている場合

1. 管理者権限を持つアカウントで Windows にログインする
2. Origin のアイコンの上で右クリックして、「管理者として実行」を選択して、管理者として Origin を起動します。
3. **ヘルプ:ライセンスの取り外し**を選択します。
4. ステップ 1 で**オンライン処理**を選択して、**今すぐ接続**をクリックします。
5. OriginLab のウェブサイトが開きます。ログインして**ライセンス除去コード (DC)**をクリックします。
6. **DC** をコピーして、Origin にあるステップ 2 で **DC** を貼り付けます。
7. Origin の**ライセンス除去**ボタンをクリックします。これでコンピュータから Origin が取り外されました。OriginLab ウェブサイトに情報が送られ、新しいライセンスファイルが届きます。

#### コンピュータがインターネットに接続されていない場合

1. Origin を起動します (Windows Vista、Windows7 では、Origin のプログラムアイコンを右クリックして、「管理者として実行」を選び起動します)。
2. メインメニューの**ヘルプ**をクリックし、**ライセンスの取り外し**を選択します。
3. ステップ 1 で**オフライン処理**を選択します。
4. インターネットにつながったコンピュータで、<http://www.originlab.com/reginfo> に行き、ログインします。

5. ライセンスのあるコンピュータを見つけて、削除しているシリアルナンバーをクリックします。
  6. ライセンスを取り外し、または、ライセンスを移行リンクをクリックすると、ライセンス除去コード(DC)が発行されます。
  7. DC をメモして、インターネットに接続していないコンピュータに戻ります。DC を Origin に入力すると、ライセンス取り外し認証番号 (DCN)が発行されます。
  8. DCN をメモして、ライセンスの取り外しのウェブページに戻ります。このページのステップ 3 に戻り、DCN を入力します。
- 完了のメッセージが出たら、ライセンスが再利用のために発行されます。OriginLab の Web ページで DCN を入力しないと、ライセンスは発行されません。

## **Origin をコンピュータで実行できない場合:**

OriginLab の Web ページで、システムの移行リクエストを行う必要があります。

1. <http://www.originlab.com/reginfo> に移動して、ログインしてください。
2. ライセンスのあるコンピュータを見つけて、削除しているシリアルナンバーをクリックします。
3. 「ライセンスを取り外し」または「ライセンスを移行」のリンクをどちらかクリックします。
4. ステップ 3 の **Note** で、システム移行の送信フォームリンクをクリックして、フォームを送信してください。

## 10.1.3. **メンテナンス更新後、ライセンスファイル版のライセンスをアップデート**

[メンテナンス](#)が更新されたら、以下のようにして新しい FLEXnet サーバーライセンスを取得してください。

1. 管理者権限のあるアカウントでコンピュータにログインします。
2. Origin のアイコンを右クリックし、「管理者として実行」を選択して Origin を起動します。
3. ヘルプ:バージョン情報を選択します。
4. バージョン情報ダイアログで、ライセンスボタンをクリックします。
5. ライセンス状態ダイアログで、ライセンスボタンをクリックします。
6. ダイアログが開くので、以前に Origin をアクティベートした時と同じ要領でライセンスファイルを取得します。
7. OriginLab の WEB サイトに表示されたライセンスファイルをコピーしたら、ライセンス入力ダイアログに貼り付け、処理を完了させます。ヘルプ:バージョン情報を選択し、メンテナンス期間がアップデートされたことを確認してください。

### **Note:**

メンテナンス期間中は、Origin を常に最新の状態にアップデートすることをお勧めします。

## 10.2. バージョン 2016 以前のマルチシート版

次のシリアル番号は、マルチシートライセンスです：

**xFxxx-9xxx-76xxxxx**, または  
**xFxxx-6xxx-76xxxxx**.

シリアル番号が、

**xxxxx-2xxx-79xxxxx**, または  
**xxxxx-3xxx-79xxxxx**,

ネットワーク同時起動版ですので、このページの情報は関係ありません。

マルチシート版は、契約ライセンス数に基づいて、その数の Origin をインストール、または、設置できます。それぞれのコンピュータは、OriginLab からライセンス認証する必要があり、ライセンスはコンピュータ指定になります。Origin のライセンスのあるコンピュータを交換したい場合は、新しいコンピュータにライセンスを移行する前に、「ライセンスの取り外し」をする必要があります。



これらのライセンス案内はバージョン 2016 以前に対するものです。ライセンスのシステムはバージョン 2017 から更新されました。Origin2017 以降のバージョンをご利用頂いている場合は、こちらのページをご覧ください。

### 1 Origin をユーザに展開する前に.

1.1 OriginLab の WEB サイトでライセンスアクセス制限をかけるには

1.2 Origin パッケージをユーザに配布するには

1.3 複数のユーザがいる場所での展開

### 2 マルチシートライセンスのアクティブ化

2.1 重要事項

2.2 コンピュータがインターネットに接続されている場合

2.3 コンピュータがインターネットに接続されていない場合

2.4 管理者が他のユーザ用にライセンスを取得する

2.5 参考

2.6 FAQ

### 3 マルチシートライセンスの取り外し

3.1 Origin をコンピュータで、まだ実行できる場合

3.1.1 コンピュータがインターネットに接続されている場合

2 コンピュータがインターネットに接続されていない場合

3.2 Origin をコンピュータで実行できない場合

3.3 FAQ

### 4 メンテナンスを更新した後、マルチシートライセンスをアップデートするには

## 10.2.1. Origin をユーザに展開する前に.

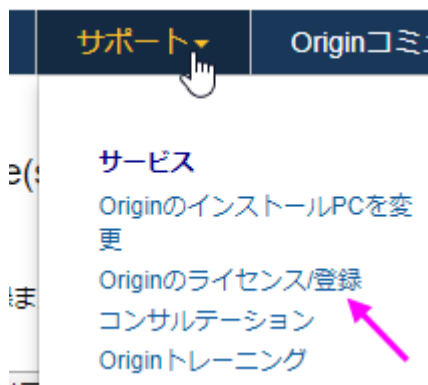
マルチユーザのパッケージには、ライセンスを取得できる WEB メンバーシップアカウントを制限できる仕組みがあります。この仕組みは、シリアル番号の不正利用を防ぎ、あなたの所属する会社や研究室のユーザがライセンスを取得できるように確保することを目的としています。

### OriginLab の WEB サイトでライセンスアクセス制限をかけるには

Origin の管理者は、以下の手順に沿ってシリアル番号を登録し、シリアル番号に対するライセンスアクセス制限を設定します。この処理は、Origin が使えるようになったとユーザに周知する前に完了してください。

 [次のビデオチュートリアルをご覧ください - Getting Started with the Multi-user Node Locked Package](#)

1. シリアル番号とアクセスコードを準備します。Origin のパッケージと一緒にライセンス証書が発行されています。
2. <http://www.originlab.com/> にアクセスします。
3. 「サポート」メニューの下にある「Origin のライセンス/登録」リンクをクリックします。



4. 既に Web メンバーシップアカウントを持っている場合はログインします。アカウントがなければ作成してください。
5. 過去に登録したシリアル番号がある場合は、「Origin 製品の登録」ページが表示されます。続いて、「新しいシリアル番号を登録する」ボタンをクリックします。
6. 「Origin を登録し、また、コンピュータに入れるべきライセンスファイルを取得したい」ラジオボタンを選び、**次へ進む**ボタンをクリックします。
7. バージョンとシリアル番号を入力し、**次へ進む**をクリックします。
8. アクセスコードの入力画面に移るので、アクセスコードと、メールアドレス(またはメールアドレスの一部)を入力してください。ここまで終わったら、必要に応じてメールアドレスやメールアドレスの一部を追加で入力できます。(ステップ 9 を参照)
  - 自分のみがライセンスを取得できるように制限したい場合は、現在のアカウントに登録しているメールアドレス全体を入力します。
  - 許可したユーザもライセンスを取得できるようにしたい場合は、まずは自分のアカウントのメールアドレスを入力します。終わったら、「許可した」ユーザのメールアドレスを全て入力します。(以下のステップを参照してください。)ユーザがライセンス取得をしようとする前であれば、管理者はいつでも OriginLab の WEB サイトに戻ってメールアドレスの追加ができます。

- 組織のメンバーのみに、ライセンスアクセスを制限したい場合には、組織に特有の email アドレスフラグメンツを入力します。

Enter Access Code:  

If you are not the Administrator, please contact them so that they can

Setup E-mail Fragment:

Only a web site account with an E-mail address containing this E-mail fragment will be able to access Origin.  
Examples: @company.com or @department.company.com

9. 一つ目のメールアドレスの入力が終わった後、追加のメールアドレスを入力する際は、
1. OriginLab の Web サイトの右上にある、あなたのログイン名をクリックします。(Web サイトに戻って、まだログインしていない場合には、ログインをクリックします)
  2. 続いて、「Welcome」ページで「ライセンスアクセス制限」をクリックします。
    - [ユーザプロフィールの表示/更新](#)
    - [パスワードの変更](#)
    - [ユーザプロフィールの履歴を表示](#)
    - [登録済みのOrigin製品を表示](#)
  
    - [メンテナンス・センター](#)
    - [ライセンスアクセス制限](#)
  3. 開いたページの案内に沿って、メールアドレスまたはアドレスの一部を追加します。

**Note:**

メンテナンス期間中は、Origin を常に最新の状態にアップグレードできます。ライセンス管理者は、リリース後すぐに新しいバージョンを登録し、ライセンスアクセス制限を設定することをお勧めします。設定が完了しましたら、他の準備出来次第ユーザに展開することが出来ます。

## Origin パッケージをユーザに配布するには

Origin をユーザに配布する時、インストーラーとシリアル番号と共にアクセスコード (Access Code) を提供してください。このコードはライセンス取得時に使用されます。また、ライセンス認証をする時は OriginLab の WEB サイトにログインする必要があることをユーザに説明し、アカウントを持っていないようなら作成するように伝えてください。OriginLab の Web サイトに参加する場合には、メールアドレスを含んだ組織のコンタクト情報を入力するようにユーザに伝えます。

すでにアカウントを持っているが、(Gmail 等を使っており) 所属している組織が発行したメールアドレスを登録していない場合、まずアカウントをアップデートし、所属組織の情報に変更するよう説明してください。WEB サイトにログイン後、[ユーザプロフィールの表示/更新](#)リンクをクリックしてアカウントのアップデートを行う必要があります。



- ユーザプロファイルの表示/更新
- パスワードの変更
- ユーザプロファイルの履歴を表示
- 登録済みのOrigin製品を表示
- メンテナンス・センター
- ライセンスアクセス制限

## 10.2.2. マルチシートライセンスのアクティブ化

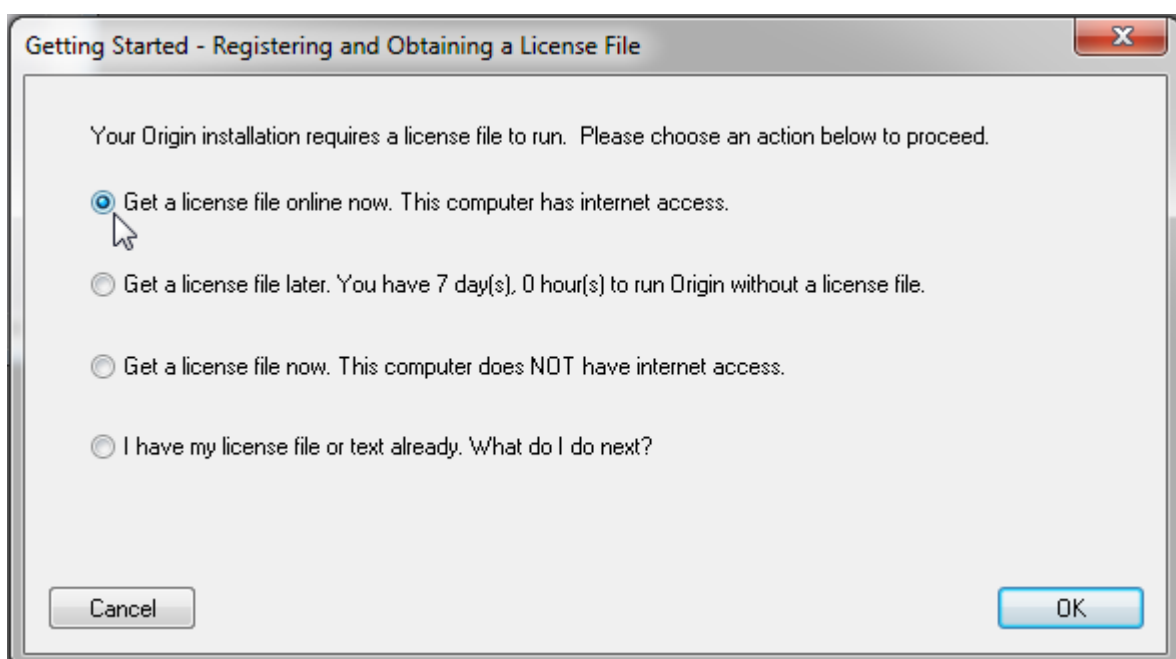
### 重要事項

- マルチシートライセンスで処理を行う場合、必ず管理者権限でコンピュータにログインしてください。
- Windows 10, 8.1, 8, 7 および Vista で Origin を管理者として実行するには、Origin のプログラムアイコンを右クリックして、「管理者として実行」を選びます。
- 一度処理が終わるとライセンスはコンピュータに保存されるので、それ以降はインターネット接続は必要ありません。

### コンピュータがインターネットに接続されている場合

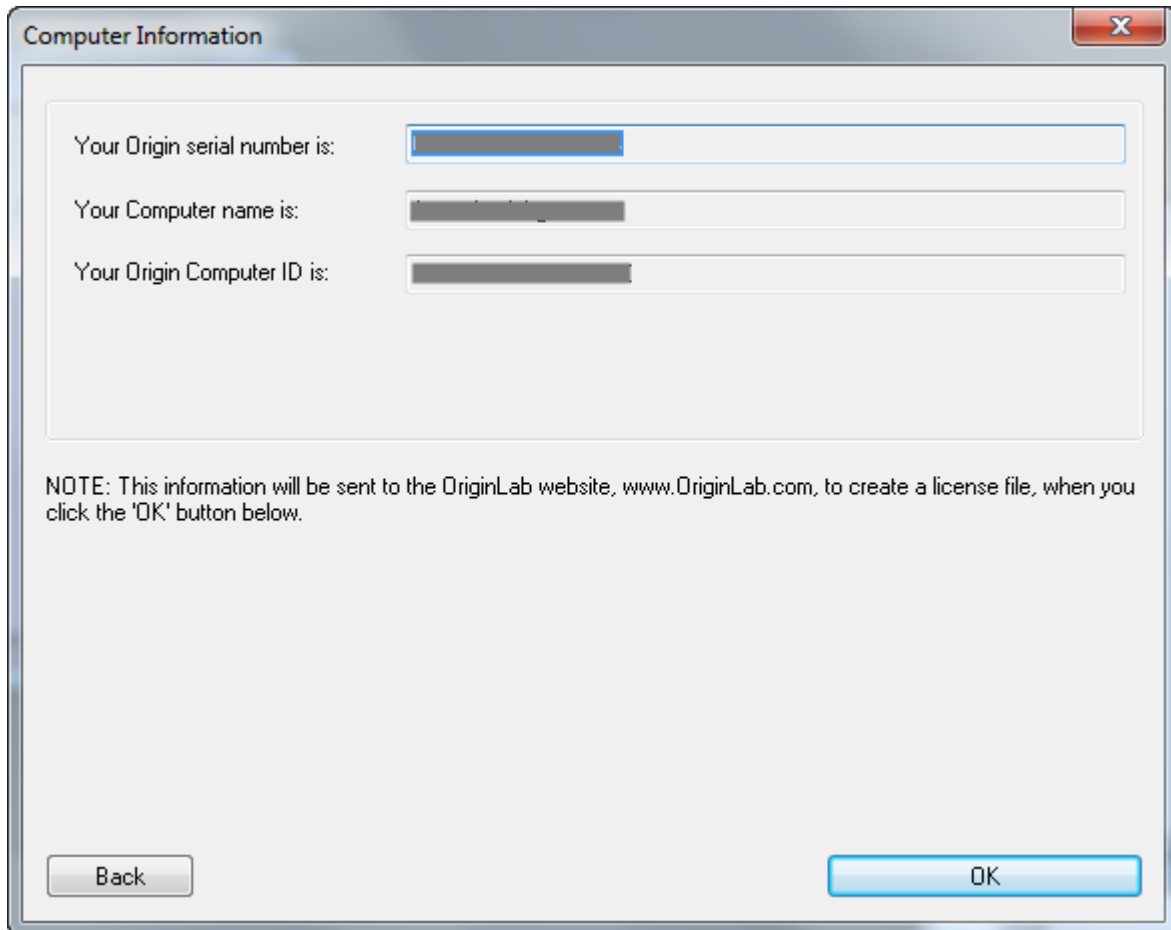
#### [ビデオチュートリアル - インターネット接続があるコンピュータでライセンスを取得](#)

1. Origin を起動します。ダイアログが開き、ライセンスを取得する方法がいくつか選択できるようになっています。
2. 一番目の選択肢、このコンピュータはインターネットに接続されており、オンラインでライセンスファイルをただ今、取得しますを選択します。OK をクリックします。





3. **コンピュータ情報**ダイアログが開きます。ここに表示されるコンピュータ情報は OriginLab の WEB サイトに反映されます。**OK** をクリックします。



4. ウェブブラウザが開き、OriginLab の WEB サイトにログインする画面が表示されます。既に Web メンバーシップを持っている場合はログインします。必要な場合はアカウントを作成してください。
5. ログインしたら、アクセスコードを入力するよう求められます。アクセスコードが分からない場合は Origin を管理している方にお尋ねください。**進む**をクリックします。

Enter Access Code:



If you do not know your Access Code, please contact your Origin administrator.

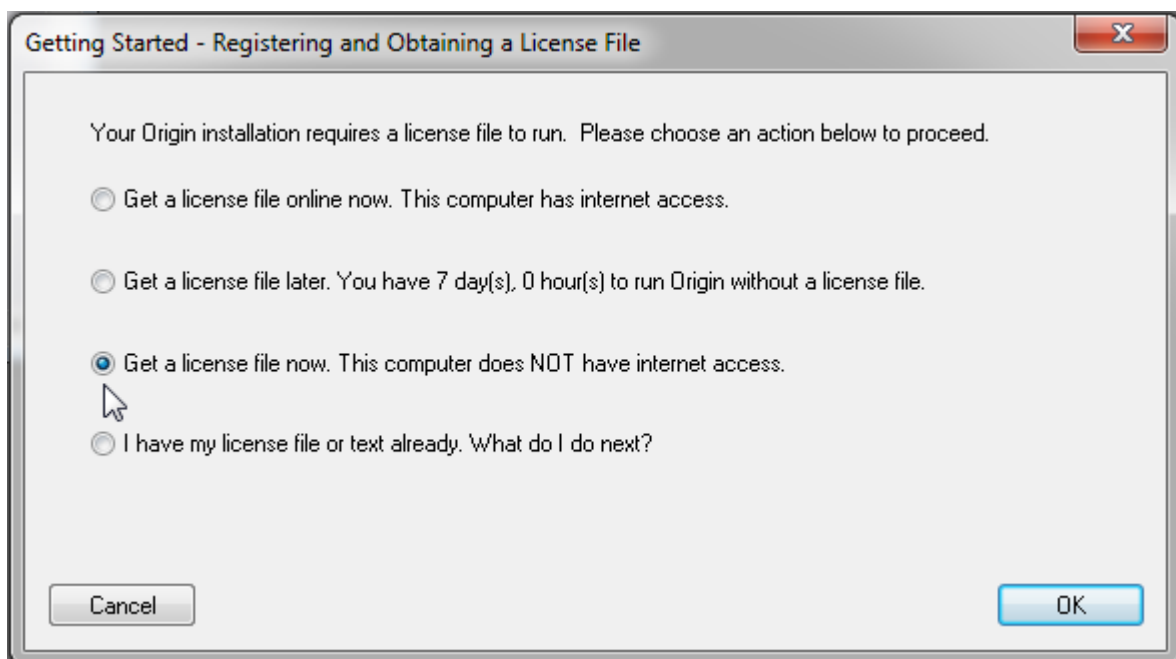
6. ライセンスファイルが作成され、WEB ページ上に表示されます。ライセンステキストを全てコピーします。
7. Origin に戻り、**ライセンス入力**ダイアログにライセンステキストを貼り付けたら、**OK** をクリックします。

## コンピュータがインターネットに接続されていない場合

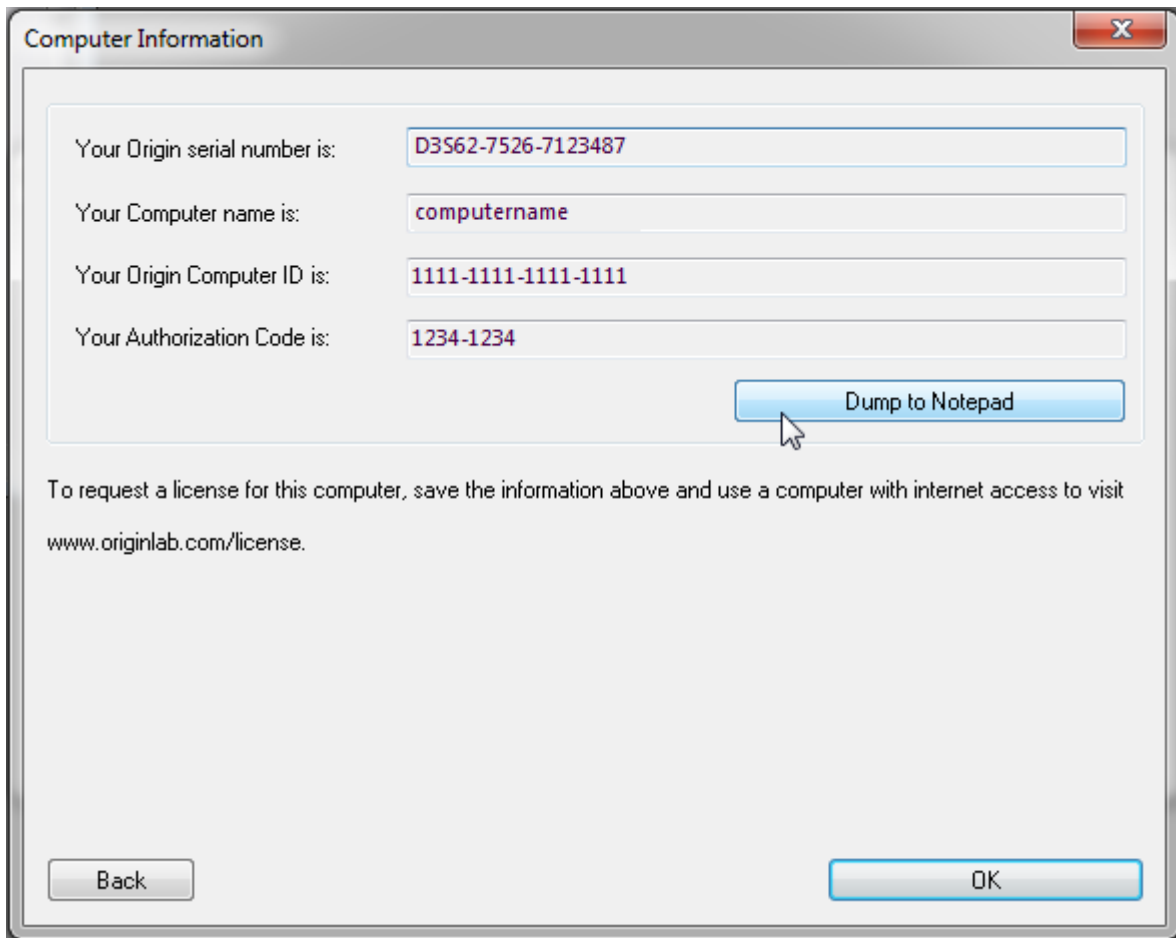
### [ビデオチュートリアル - インターネット接続がないコンピュータでライセンスを取得](#)

実際に Origin を使用するコンピュータがインターネットに接続されていない場合でも、インターネットに接続できる別のコンピュータは必ず必要になります。このインターネット接続のあるコンピュータで、ライセンスを取得します。処理を行うには、インターネット接続がないコンピュータのコンピュータ ID、許可コード、シリアル番号が必須です。

1. Origin のライセンスダイアログで、「ライセンスファイルを今すぐ取得」を選択します。別の PC を使ってライセンスファイルを今すぐ取得したいです」を選択して OK をクリックします。



2. ダイアログが開き、シリアル番号、コンピュータ名、コンピュータ ID、許可コードを表示します。メモ帳エディタに出力をクリックして、これらの情報をテキストファイルに保存します。



3. インターネットに接続できるコンピュータで **www.originlab.com** にアクセスします。
4. サポートメニューの下にある「Origin のライセンス/登録」リンクをクリックします。
5. 既に Web メンバーシップを持っている場合はログインします。必要な場合はアカウントを作成してください。
6. **もし、あなたのアカウントでシリアル番号の登録/ライセンス取得を行うのが、今回初めてならば**
  1. ログイン後のページで「Origin を登録し、また、コンピュータに入れるべきライセンスファイルを取得したい」を選択して「次に進む」をクリックします。
  2. シリアル番号とバージョンを入力して次に進むをクリックします。
  3. 次に、アクセスコードを入力するよう求められるはずですが、アクセスコードが分からない場合は Origin を管理している方にお尋ねください。

Enter Access Code:



If you do not know your Access Code, please contact your Origin administrator.

4. Origin のコンピュータ ID、コンピュータ名、アクセスコードを入力し、「登録」をクリックします。
5. ライセンスファイルが作成され、WEB ページ上に表示されます。ライセンステキストを全てコピーします。
6. メモ帳等のテキストエディタを開き、ライセンステキストを貼り付けます。テキストファイルをフラッシュドライブやディスクに保存します。

7. Origin をインストールしたコンピュータに戻ります。メインのライセンスダイアログを開く必要がありますので、コンピュータ情報のダイアログがまだ開いていましたら、「戻る」ボタンをクリックしてください。
8. メインのライセンスダイアログで、「すでにライセンスファイルを取得済みです次に何をすればいいのですか？」を選択し OK をクリックします。
9. ライセンス入力ダイアログに、ライセンステキストを貼り付けたら、**OK** をクリックします。

**既に登録済、またはアカウントにライセンス済の Origin がある場合** は、ログイン後に Origin の製品登録 Web ページをご覧になれます。

5.
  - 一覧の中にないシリアル番号について、ライセンスを取得するには
    1. 「"新しいシリアル番号を登録する"をクリックします。
    2. 『Origin を登録し、また、コンピュータに入れるべきライセンスファイルを取得したい』ラジオボタンを選び、「次へ進む」ボタンを押します
    3. シリアル番号とバージョンを入力して次に進むをクリックします。
    4. 前のセクションのステップ 3 を行います。
  - すでに Origin を使っていて、アップグレードをする場合など、ライセンスを取得したいバージョンが一覧に表示されていない場合は以下のようにします。
    1. 「新しいシリアル番号を登録する」をクリックします。
    2. 『Origin を登録し、また、コンピュータに入れるべきライセンスファイルを取得したい』ラジオボタンを選び、「次へ進む」ボタンを押します
    3. シリアル番号とバージョンを入力して次に進むをクリックします。
    4. 前のセクションのステップ 3 を行います。
  - すでにライセンス一覧に表示されているシリアル番号/バージョンのライセンスを取得するには、以下のようになります。
    1. 一覧の中の該当するシリアル番号/バージョンをクリックします。
    2. 「ライセンス要求履歴」のページが開いたら、表の上にある「新しいコンピュータ用のライセンスを取得する」ボタンをクリックします。
    3. 前のセクションのステップ 4 を行います。

## 管理者が他のユーザ用にライセンスを取得する

マルチシートノードロックパッケージの管理者の場合は、ユーザ自身で Origin ライセンスの取得を取得できます。または、ライセンス取得のプロセスを管理者で行うことができます。もし一括して全てのユーザのライセンスを管理するなら、ユーザのコンピュータ上でライセンスダイアログを直接操作するか、コンピュータ情報を連絡してもらった上で自分のコンピュータを使って手続きしてください。どちらの場合も、先に説明した手順に沿って操作してください。

### 10.2.3. マルチシートライセンスの取り外し

Origin のライセンスを別のコンピュータに移したい場合、元のコンピュータからライセンスを取り外して新しいコンピュータにライセンスを入れる必要があります。元のコンピュータにアクセスできない場合は、OriginLab の Web ページから、システムの移行リクエストを行ってください。

#### Origin をコンピュータで、まだ実行できる場合：

 [ライセンスの取り外しビデオチュートリアルをご覧ください。](#)

#### コンピュータがインターネットに接続されている場合

1. 管理者権限を持つアカウントで Windows にログインする
2. Origin のアイコンの上で右クリックして、「管理者として実行」を選択して、管理者として Origin を起動します。
3. ヘルプ:ライセンスの取り外しを選択します。
4. ステップ 1 でオンライン処理を選択して、今すぐ接続をクリックします。
5. OriginLab のウェブサイトが開きます。ログインしてライセンス除去コード (DC) をクリックします。
6. DC をコピーして、Origin にあるステップ 2 で DC を貼り付けます。
7. Origin のライセンス除去ボタンをクリックします。これでコンピュータから Origin が取り外されました。OriginLab ウェブサイトに情報が送られ、新しいライセンスファイルが届きます。

#### コンピュータがインターネットに接続されていない場合

1. Origin を起動します (Windows Vista、Windows7 では、Origin のプログラムアイコンを右クリックして、「管理者として実行」を選び起動します)。
2. メインメニューのヘルプをクリックし、ライセンスの取り外しを選択します。
3. ステップ 1 でオフライン処理を選択します。
4. インターネットにつながったコンピュータで、<http://www.originlab.com/reginfo> に行き、ログインします。
5. ライセンスのあるコンピュータを見つけて、削除しているシリアルナンバーをクリックします。
6. ライセンスを取り外し、または、ライセンスを移行リンクをクリックすると、ライセンス除去コード(DC)が発行されます。
7. DC をメモして、インターネットに接続していないコンピュータに戻ります。DC を Origin に入力すると、ライセンス取り外し認証番号 (DCN) が発行されます。
8. DCN をメモして、ライセンスの取り外しのウェブページに戻ります。このページのステップ 3 に戻り、DCN を入力します。  
完了のメッセージが出たら、ライセンスが再利用のために発行されます。OriginLab の Web ページで DCN を入力しないと、ライセンスは発行されません。

## **Origin をコンピュータで実行できない場合:**

OriginLab の Web ページで、システムの移行リクエストを行う必要があります。

1. <http://www.originlab.com/reginfo> に移動して、ログインしてください。
2. ライセンスのあるコンピュータを見つけて、削除しているシリアルナンバーをクリックします。
3. 「ライセンスを取り外し」または「ライセンスを移行」のリンクをどちらかクリックします。
4. ステップ 3 の **Note** で、**システム移行の送信フォーム**リンクをクリックして、フォームを送信してください。

## 10.2.4. メンテナンスを更新した後、マルチシートライセンスをアップデートするには

[メンテナンス](#)が更新されたら、以下のようにして新しい FLEXnet サーバーライセンスを取得してください。

1. 管理者権限のあるアカウントでコンピュータにログインします。
2. Origin のアイコンを右クリックし、「**管理者として実行**」を選択して Origin を起動します。
3. **ヘルプ:バージョン情報**を選択します。
4. **バージョン情報**ダイアログで、**ライセンス**ボタンをクリックします。
5. **ライセンス状態**ダイアログで、**ライセンス**ボタンをクリックします。
6. ダイアログが開くので、以前に Origin をアクティベートした時と同じ要領でライセンスファイルを取得します。
7. OriginLab の WEB サイトに表示されたライセンスファイルをコピーしたら、**ライセンス入力**ダイアログに貼り付け、処理を完了させます。**ヘルプ:バージョン情報**を選択し、メンテナンス期間がアップデートされたことを確認してください。

### **Note:**

メンテナンス期間中は、Origin を常に最新の状態にアップグレードできます。複数ユーザが利用するライセンスの管理者は、新バージョンがリリースされ次第登録を行い、他のユーザに知らせるとよいでしょう。

## 10.3. バージョン 2016 以前の学生版ライセンス

- [1 重要事項](#)
- [2 ライセンスのアクティブ化](#)
  - [2.1 コンピュータがインターネットに接続されている場合](#)
  - [2.2 コンピュータがインターネットに接続されていない場合](#)
  - [2.3 参考](#)
  - [2.4 FAQ](#)
- [3 ライセンスの取り外し](#)

- [3.1 Origin をコンピュータで、まだ実行できる場合](#)
  - [3.1.1 コンピュータがインターネットに接続されている場合](#)
  - [2 コンピュータがインターネットに接続されていない場合](#)
- [3.2 Origin をコンピュータで実行できない場合](#)
- [3.3 FAQ](#)

### 10.3.1. 重要事項

- 学生版ライセンスでは、1 台の個人 PC にのみ OriginPro をインストールできます。
- 1 年間の学生版ライセンスを購入頂くと、有効期間内にアップグレードがあった場合に、更新することが可能です。日本では、6 か月の学生版は販売しておりません。
- 学生版のアップグレードの選択をすると、旧バージョンをインストールしたコンピュータに新バージョンのライセンスを入力する必要があります。アップグレードを行う前に、別の新しいパソコンにライセンスを移行したい場合には、新しいコンピュータにアップグレードする前に、古いコンピュータからライセンスを取り外します。(こちらをご参照下さい [ライセンスの取り外し](#))

### 10.3.2. ライセンスのアクティブ化

学生版ライセンスの利点と制約の詳細については [こちらの](#) ページをご覧ください。

#### コンピュータがインターネットに接続されている場合

 [ビデオチュートリアルをご覧ください - インターネット接続があるコンピュータでライセンスを取得](#)

1. Origin を起動します。ダイアログが開き、ライセンスを取得する方法がいくつか選択できるようになっています。
2. 一番目の選択肢、**このコンピュータはインターネットに接続されており、オンラインでライセンスファイルをただ今、取得しずを選択します。OK をクリックします。**
3. **コンピュータ情報**ダイアログが開きます。ここに表示されるコンピュータ情報は OriginLab の WEB サイトに反映されます。**OK** をクリックします。
4. ウェブブラウザが開き、OriginLab の WEB サイトにログインする画面が表示されます。既に Web メンバーシップを持っている場合はログインします。必要な場合はアカウントを作成してください。
5. ログイン後、ライセンスファイルが作成され、WEB ページ上に表示されます。ライセンステキストを全てコピーします。
6. Origin に戻り、**ライセンス入力**ダイアログにライセンステキストを貼り付けたら、**OK** をクリックします。

## コンピュータがインターネットに接続されていない場合

### [ビデオチュートリアルをご覧ください - インターネット接続がないコンピュータでライセンスを取得](#)

コンピュータにインターネット接続がない場合、インターネット接続がある別のコンピュータでライセンスを取得することができます。処理を行うには、インターネット接続がないコンピュータのコンピュータ ID、許可コード、シリアル番号が必須です。

1. Origin のライセンスダイアログで、「ライセンスファイルを今すぐ取得」を選択します。別の PC を使ってライセンスファイルをいますぐ取得したいです」を選択して OK をクリックします。
2. ダイアログが開き、シリアル番号、コンピュータ名、コンピュータ ID、許可コードを表示します。メモ帳エディタに出力をクリックして、これらの情報をテキストファイルに保存します。
3. インターネットに接続できるコンピュータで [www.originlab.com](http://www.originlab.com) にアクセスします。
4. サポートメニューの下にある「Origin のライセンス/登録」リンクをクリックします。
5. 既に Web メンバーシップを持っている場合はログインします。必要な場合はアカウントを作成してください。
6. **もし、あなたのアカウントでシリアル番号の登録/ライセンス取得を行うのが、今回初めてならば**
  1. ログイン後のページで「Origin を登録し、また、コンピュータに入れるべきライセンスファイルを取得したい」を選択して「次に進む」をクリックします。
  2. シリアル番号とバージョンを入力して**次に進む**をクリックします。
  3. Origin のコンピュータ ID、コンピュータ名、アクセスコードを入力し、**登録**をクリックします。
  4. ライセンスファイルが作成され、WEB ページ上に表示されます。ライセンステキストを全てコピーします。
  5. メモ帳等のテキストエディタを開き、ライセンステキストを貼り付けます。テキストファイルをフラッシュドライブやディスクに保存します。
  6. Origin をインストールしたコンピュータに戻ります。メインのライセンスダイアログを開く必要がありますので、コンピュータ情報のダイアログがまだ開いていましたら、「戻る」ボタンをクリックしてください。
  7. メインのライセンスダイアログで、「すでにライセンスファイルを取得済みです次に何をすればいいのですか？」を選択し **OK** をクリックします。
  8. ライセンス入力ダイアログに、ライセンステキストを貼り付けたら、**OK** をクリックします。

**既に登録済、またはアカウントにライセンス済の Origin がある場合** は、ログイン後に Origin の製品登録 Web ページをご覧になれます。

ライセンスの一覧にない新しいシリアル番号やバージョンを取得するには、

9. **新しいシリアル番号を登録する**をクリックします。
10. 『Origin を登録し、また、コンピュータに入れるべきライセンスファイルを取得したい』ラジオボタンを選び、「次へ進む」ボタンを押します
11. シリアル番号とバージョンを入力して**次に進む**をクリックします。
12. 前のセクションのステップ 3 を行います。



### 10.3.3. ライセンスの取り外し

Origin のライセンスを別のコンピュータに移したい場合、元のコンピュータからライセンスを取り外して新しいコンピュータにライセンスを入れる必要があります。元のコンピュータにアクセスできない場合は、OriginLab の Web ページから、システムの移行リクエストを行ってください。

#### Origin をコンピュータで、まだ実行できる場合：

 [ライセンスの取り外しビデオチュートリアルをご覧ください。](#)

#### コンピュータがインターネットに接続されている場合

1. 管理者権限を持つアカウントで Windows にログインする
2. Origin のアイコンの上で右クリックして、「管理者として実行」を選択して、管理者として Origin を起動します。
3. ヘルプ:ライセンスの取り外しを選択します。
4. ステップ 1 でオンライン処理を選択して、今すぐ接続をクリックします。
5. OriginLab のウェブサイトが開きます。ログインしてライセンス除去コード (DC) をクリックします。
6. DC をコピーして、Origin にあるステップ 2 で DC を貼り付けます。
7. Origin のライセンス除去ボタンをクリックします。これでコンピュータから Origin が取り外されました。OriginLab ウェブサイトに情報が送られ、新しいライセンスファイルが届きます。

#### コンピュータがインターネットに接続されていない場合

1. Origin を起動します (Windows Vista、Windows7 では、Origin のプログラムアイコンを右クリックして、「管理者として実行」を選び起動します)。
2. メインメニューのヘルプをクリックし、ライセンスの取り外しを選択します。
3. ステップ 1 でオフライン処理を選択します。
4. インターネットにつながったコンピュータで、<http://www.originlab.com/reginfo> に行き、ログインします。
5. ライセンスのあるコンピュータを見つけて、削除しているシリアルナンバーをクリックします。
6. ライセンスを取り外し、または、ライセンスを移行リンクをクリックすると、ライセンス除去コード(DC)が発行されます。
7. DC をメモして、インターネットに接続していないコンピュータに戻ります。DC を Origin に入力すると、ライセンス取り外し認証番号 (DCN) が発行されます。
8. DCN をメモして、ライセンスの取り外しのウェブページに戻ります。このページのステップ 3 に戻り、DCN を入力します。

完了のメッセージが出たら、ライセンスが再利用のために発行されます。OriginLab の Web ページで DCN を入力しないと、ライセンスは発行されません。

## **Origin をコンピュータで実行できない場合:**

OriginLab の Web ページで、システムの移行リクエストを行う必要があります。

1. [www.originlab.com/reginfo](http://www.originlab.com/reginfo) に移動して、ログインしてください。
2. 取り外したいシリアル番号をクリックして、「ライセンスを取り外し、または、ライセンスを移行」をクリックします。
3. ステップ 3 の **Note** で、**システム移行の送信フォーム**リンクをクリックして、フォームを送信してください。

# 11 Config.ini でインストールの設定をカスタマイズする

## 11.1. Config.ini とは何か、Config.ini でできること

**Config.ini** ファイルは、インストール設定を事前設定/カスタマイズするための構成ファイルです。Origin セットアップファイルとともに提供されます。**Note:** Web サイトから自己解凍型 exe インストーラー (exe 形式) をダウンロードした場合、**Config.ini** ファイルは含まれません。代わりに zip 形式を選択してください。

### 11.1.1. Config.ini の内容

**Config.ini** ファイルにはデフォルトで以下の設定が記述されています。メモ帳で開いて閲覧し、編集することができます。各設定の理解に役立つ詳細なコメントが含まれています。

#### インストール設定

[Setup]セクションですべてのインストールデータを事前設定します。

- シリアル番号、ユーザー名、会社情報、インストールパス、32bit または 64bit バージョン、Python コンソールと SPSS インポートを有効にするかどうかを事前設定
- Origin をサイレントインストールするかどうかを決定

**Note:** Origin をサイレントモードでインストールするために QuietMode = 1 に設定した場合、以下の項目を事前設定する必要があります。

```
AcceptOriginLabLicenceAgreement=1
```

```
SN=
```

```
UserName=
```

```
Company=
```

インストールする 32bit アプリケーションまたは 64bit アプリケーションは、OS と 32bit/64bit の両方の設定によって決まります。以下のように操作します。

- 32bit OS ユーザーの場合、32bit と 64bit の設定に関係なく、32bit Origin のみがインストールされます。
- 64bit OS ユーザーの場合、インストールアプリケーションは 32bit と 64bit によって決定されます。両方をスキップまたはコメントアウトすると、64bit Origin のみがインストールされます。

他の項目は、指定されていない場合、次のデフォルト値を使用します。

```
InstallPath=C:\Program Files\OriginLab\Origin2019
```

```
EmbeddedPython=1
```

```
SPSSImport=1
```

```
AllUsers=1
```

```
ProgramFolder=C:\ProgramData\Microsoft\Windows\Start Menu\Programs\OriginLab Origin  
2019
```

## Origin フォルダのパス

- ユーザファイルフォルダ

- ユーザファイルフォルダを[Locations]セクションで事前設定します。

- Origin を最初に起動するときに、事前設定されたパスで**ユーザファイルフォルダ**ダイアログを表示するかどうかを決定します。

- 自動保存フォルダ、バックアッププロジェクトフォルダ、未保存プロジェクトフォルダ

- 自動保存フォルダ(AutoSave)、バックアッププロジェクトフォルダ(Backup)、未保存プロジェクトフォルダ(Unsaved)のルートフォルダを[Locations]セクションで事前設定します。

- アプリ

- アプリフォルダ(Apps)を[Apps]セクションで事前設定します。

**Note:**Config.ini に事前設定されたフォルダパス(たとえば、ユーザファイルフォルダまたは自動保存フォルダ)がある場合、以前のバージョンから古い設定を引き継ぐ代わりに、それらが使用されます。

### ライセンス管理

ネットワーク同時起動版の場合、[License]セクションで FLEXnet サーバーのホスト名または IP アドレスを事前設定します。Origin が以前にインストールされている場合、現在のサーバー情報を更新するかどうかも決定できます。

## 11.2. サイレントインストール

Origin 2019 以降の Config.ini ファイルには、新しいサイレントインストール方法があります。

**Note:**Origin 2018b またはそれ以前のバージョンがあり、サイレントインストールで Origin を展開したい場合は、[こちらのページ](#)をご参照ください。

**InstallShield のセットアッププログラムを使用して、Origin を組織内のコンピュータにサイレントインストールするには、次の手順を実行します。**

1. Origin セットアップファイルをコンピュータ「A」のフォルダにコピーします。**Note:**
  - コンピューター「A」は、すべての Origin ユーザーが接続できるネットワーク上に存在する必要があります。
  - フォルダ内に **Config.ini** を含む 14 のセットアップファイルがあることを確認します。
2. 必要なすべての事前設定構成で **Config.ini** ファイルを変更します。
3. 必要に応じて、ライセンス管理を次のように事前設定します。

## Origin ライセンス

- 同時起動ネットワーク版の場合、**Config.ini** ファイルの[License]セクションで FLEXnet サーバーのホスト名または IP アドレスを事前設定できます。これを設定しない場合、ユーザは Origin の初回起動時に**ライセンス情報**ダイアログに情報を入力する必要があります。
  - ノードロック マルチシート版の場合、**pk.txt** ファイルを使用してプロダクトキーを事前設定します。Origin は、初回起動時に自動的にアクティブになります。これを設定しない場合、ユーザは**ライセンスのアクティベーション**ダイアログを使用して OriginLab ウェブサイトからライセンスをアクティベートする必要があります。
4. setup.exe があるコンピューター「A」の Origin Setup フォルダで、この変更された **Config.ini** および **pk.txt** ファイル(ある場合)を確認します。
  5. このフォルダを完全な読み取り/書き込み権限で共有し、UNC 共有名をメモします。(例: \\A\Origin\)
  6. すべてのユーザにメールを送信して、setup.exe ファイルの実行を依頼します。ユーザは、管理者特権を持つログインアカウントを使用してコンピュータにログインする必要があります。また、ユーザのコンピュータはコンピューター「A」にアクセスできるネットワーク上に存在する必要があります。

### Note:

- このサイレントインストール方法は、Origin をターゲットコンピュータにのみインストールします。
- 同時起動ネットワーク版の場合、Origin を 10 回起動すると、『登録』ダイアログボックスが開きます。ユーザ自身で Origin を登録する必要があります。



## 12 索引

### C

Config.ini でインストールの設定をカスタマイズする 77

### F

FLEXnet クライアント初期設定 31

### L

Linux の FLEXnet サーバの設定方法 27

### W

Windows の FLEXnet サーバ設定方法 19

### く

クライアントに Origin をインストール、またはファイルサーバに展開 55

### し

シングルユーザ ノードロックライセンス 3

### ね

ネットワーク同時起動版の追加情報 32

### は

バージョン 2016 以前のマルチシート版 63

バージョン 2016 以前のライセンスファイル版 57

バージョン 2016 以前の学生版ライセンス 72

ハードウェアキー版 53

### ら

ライセンス 1

ライセンスのアクティブ化 9

### 漢字

学生版ライセンス 47

体験版ライセンス 51

大規模なマルチユーザーノードロックライセンスのために  
グループキーをリクエストおよび使用する方法 17